

# 経済統計b:第十二回

担当教員 黒田敏史

# 今週の内容

- 国際機関の統計
  - 国際連合と専門機関の統計
  - OECDの統計
  - その他の国際的な統計

# 今週の内容

- 国際機関の統計
  - 国際連合と専門機関の統計
  - OECDの統計
  - その他の国際的な統計

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際連合とは
  - 国際連合
    - 1945年10月24日に51の加盟国により発足
    - 現在の加盟国は192カ国
  - 国際連合の目的
    - 全世界の平和を守ること
    - 各国の間に友好関係を作り上げること
    - 貧しい人々の生活条件を向上させ、飢えと病気と読み書きのできない状態を克服し、お互いの権利と自由の尊重を働きかけるように、共同で努力すること
    - 各国がこれらの目的を達成するのを助けるための話し合いの場となること

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際連合の構成

- 6つの主要機関によって構成される

- 総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所、事務局
    - 総会の補助機関として、各種委員会、機関が設立されている（UNICEF, UNDP, UNCTAD等）

- 国連システム

- 政府間の協定によって設けられ、国際連合と連携関係をもつ専門機関が存在する（WB, IMF, FAO, ILO, ITU, WHO, UNESCO等）
    - 国連は、主要機関、並びに各種計画、基金、専門機関による「国連システム」として機能している

# 国際連合と専門機関の統計

## ・国連など主要な国際機関

区分	名称	日本名	設立年	職員数	財政規模	役割
国連	UNCTAD	国連貿易開発会議	1964	450	1	途上国を世界経済に統合
	UNEP	国連環境計画	1972	890	2	環境保全の促進
	UNICEF	国連児童基金	1949	7,200	11	途上国の児童・母親への支援
	UNDP	国連開発計画	1965	5,300	49	各国経済開発の援助
	UNHCR	国連難民高等弁務官事務所	1950	6,300	10	難民の保護と難民問題の解決
	WFP	世界食料計画	1953	10,600	②30	緊急事態と経済開発のための食料援助
専門機関	ILO	国際労働機構	1919	1,900	5	労働権と雇用機会
	FAO	国連食料農業機関	1945	3,600	8	森林、漁業を含む食料と農業
	UNESCO	国連教育科学文化機関	1942	2,100	7	教育、科学、文化、コミュニケーション
	WHO	世界保健機関	1948	8,000	16	健康問題の協調
	World Bank	世界銀行	1944	10,000	③268	貧困削減と生活水準改善のための技術援助、資金援助
	IMF	国際通貨基金	1944	2,500	9	各国経済財政発展の監視、国際収支危機への資金供給
	IFAD	国際農業開発基金	1976	430	1	農村の貧困
	UNIDO	国連工業開発機関	1966	650	2	中小企業の成長促進
関連組織	WTO	世界貿易機関	1948	625	2	通商に係る協定、交渉、係争
	IAEA	国際原子力機関	1957	2,200	3	核技術の科学的・技術的相互協力と核保全・監査
その他の国際機関	OECD	経済協力開発機構	1961	2,500	5	経済発展の分析・予測、通商・環境・農業・税の研究
	BIS	国際決済銀行	1930	578	2	中央銀行間の協調行動、金融財政の安定化

注) 公式文書、年次報告による。世界銀行は低所得向けのIDAと中所得向けのIBRDを含む。

①一般会計及び特別会計、②2005年、③2007年会計年度：運営会計は21億ドル、援助額は247億ドル

(資料) The Economist July 5th 2008 翻訳は「社会実情データ図録」による。

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際連合の拠出金
  - － 国連の財源は、加盟各国から支払われる分担金であり、の支払能力、国民所得および人口に基づく負担率が定められている

順位	国名	負担率
1	アメリカ合衆国	22
2	日本	16.624
3	ドイツ	8.577
4	イギリス	6.642
5	フランス	6.301
6	イタリア	5.079
7	カナダ	2.977
8	スペイン	2.968
9	中国	2.667
10	メキシコ	2.257
11	韓国	2.173
12	オランダ	1.873
13	オーストラリア	1.787
14	スイス	1.216
15	ベルギー	1.102
16	ロシア	1.1
17	スウェーデン	1.071
18	オーストリア	0.887
19	ブラジル	0.876
20	ノルウェー	0.782

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際連合の統計

- 国際連合は、加盟各国や、関連機関からのデータ拠出に基づいた様々な統計を公表している

<http://www.un.org/en/databases/#stats>

- Statistical Database of the Economic Commission for Africa: アフリカの国々のデータ
- Statistical Database of the Economic Commission for Europe: ヨーロッパ・北米・中米のデータ
- Social Indicators: 出生・健康・教育・失業などの社会状態に関する統計
- Millennium Development Goals Indicators: ミレニアム開発計画に関連した統計
- UN Commodity Trade Statistics Database: 財の貿易に関する統計
- Undata: 各国の各種データ
- UN Population Information Network: 国や地域における人口に関する統計



# 国際連合と専門機関の統計

- ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals)
  - 国連は2015年を目標として以下の8つの目標を掲げている
  - Goal1: 極度の貧困と飢餓の撲滅
    - ターゲット1-A: 1990年と比較して1日の収入が1米ドル未満の人口比率を2015年までに半減させる。
    - ターゲット1-B: 女性、若者を含むすべての人々に、完全(働く意思と能力を持っている人が適正な賃金で雇用される状態)かつ生産的な雇用、そしてディーセント・ワーク(適切な仕事)の提供を実現する。
    - ターゲット1-C: 1990年と比較して飢餓に苦しむ人口の割合を2015年までに半減させる。
  - Goal2: 普遍的初等教育の達成
    - ターゲット2-A: 2015年までに、世界中のすべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする。
  - Goal3: ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
    - ターゲット3-A: 2005年までに初等・中等教育における男女格差の解消を達成し、2015年までにすべての教育レベルにおける男女格差を解消する。

# 国際連合と専門機関の統計

- Goal4: 乳幼児死亡率の削減
  - ターゲット4-A: 1990年と比較して5歳未満児の死亡率を2015年までに3分の1に削減させる。
- Goal5: 妊産婦の健康の改善
  - ターゲット5-A: 1990年と比較して妊産婦の死亡率を2015年までに4分の1に削減させる。
  - ターゲット5-B: 2015年までにリプロダクティブ・ヘルス(性と生殖に関する健康)への普遍的アクセス(必要とする人が利用できる機会を有する状態)を実現する。
- Goal6: HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
  - ターゲット6-A: HIV/エイズのまん延を2015年までに阻止し、その後減少させる。
  - ターゲット6-B: 2010年までにHIV/エイズの治療への普遍的アクセスを実現する。
  - ターゲット6-C: マラリアおよびその他の主要な疾病のまん延を2015年までに阻止し、その後減少させる。

# 国際連合と専門機関の統計

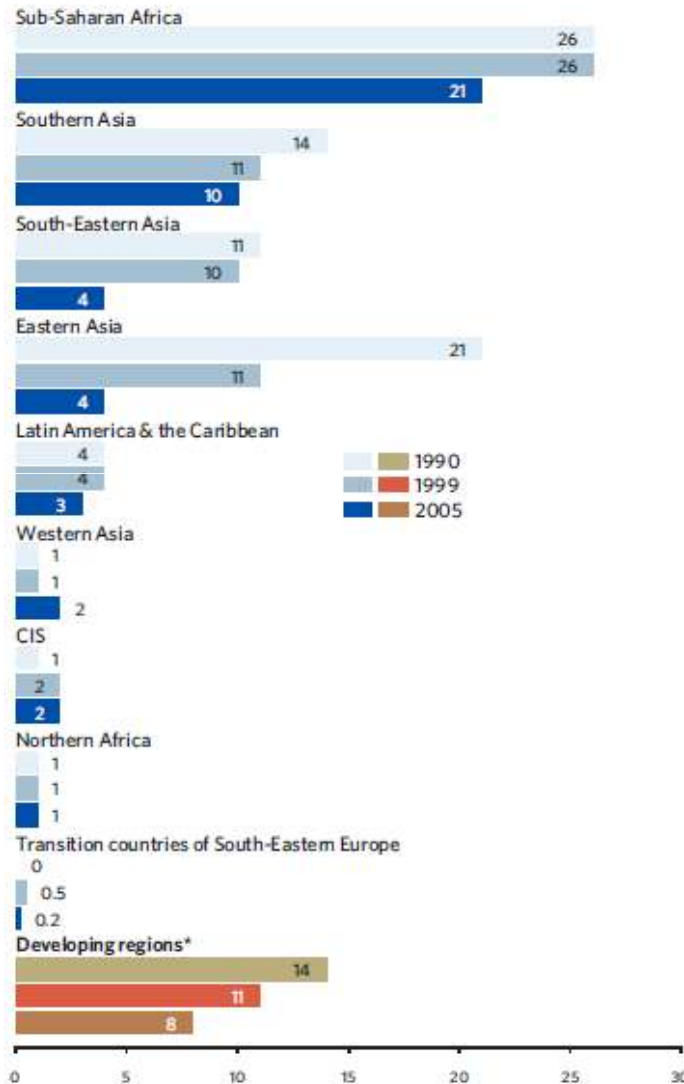
- Goal7: 環境の持続可能性の確保
  - ターゲット7-A: 持続可能な開発の原則を各国の政策や戦略に反映させ、環境資源の喪失を阻止し、回復を図る。
  - ターゲット7-B: 生物多様性の損失を2010年までに有意(確実)に減少させ、その後も継続的に減少させ続ける。
  - ターゲット7-C: 2015年までに、安全な飲料水と基礎的な衛生設備を継続的に利用できない人々の割合を半減させる。
  - ターゲット7-D: 2020年までに、最低1億人のスラム居住者の生活を大幅に改善する。

# 国際連合と専門機関の統計

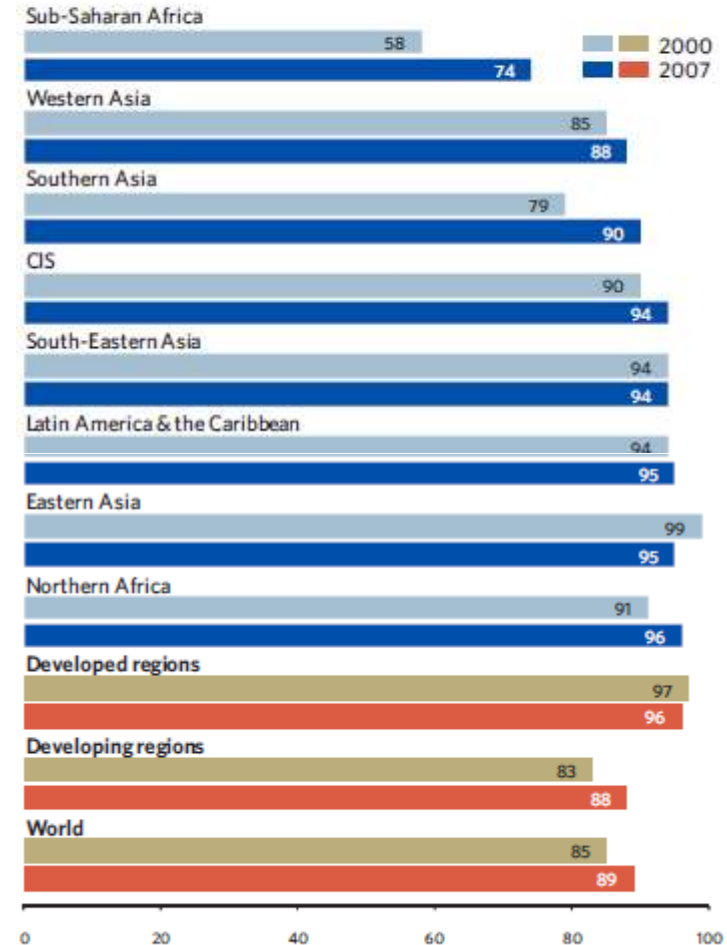
- Goal8: 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進
  - ターゲット8-A: 開放的で、ルールに基づいた、予測可能でかつ差別のない貿易および金融システムのさらなる構築を推進する。(グッド・ガバナンス、開発および貧困削減に対する国内および国際的な公約を含む。)
  - ターゲット8-B: 後発開発途上国(LDC)の特別なニーズに取り組む。
    - ((1)LDCからの輸入品に対する無関税・無枠、(2)重債務貧困国に対する債務救済および二国間債務の帳消しのための拡大プログラム、(3)貧困削減に取り組む諸国に対するより寛大なODAの提供を含む。)
  - ターゲット8-C: 内陸国および小島嶼開発途上国の特別なニーズに取り組む。(小島嶼開発途上国のための持続可能な開発プログラムおよび第22回国連総会の規定に基づく。)
  - ターゲット8-D: 国内および国際的な措置を通じて、開発途上国の債務問題に包括的に取り組み、債務を長期的に持続可能なものとする。
  - ターゲット8-E: 製薬会社と協力し、開発途上国において、人々が必須の医薬品を安価に入手・利用できるようにする。
  - ターゲット8-F: 民間セクターと協力し、特に情報・通信における新技術による利益が得られるようにする

# 国際連合と専門機関の統計

Poverty gap ratio at \$1.25 a day, 1990, 1999 and 2005 (Percentage)



Adjusted net enrolment ratio in primary education,\* 1999/2000 and 2006/2007 (Percentage)

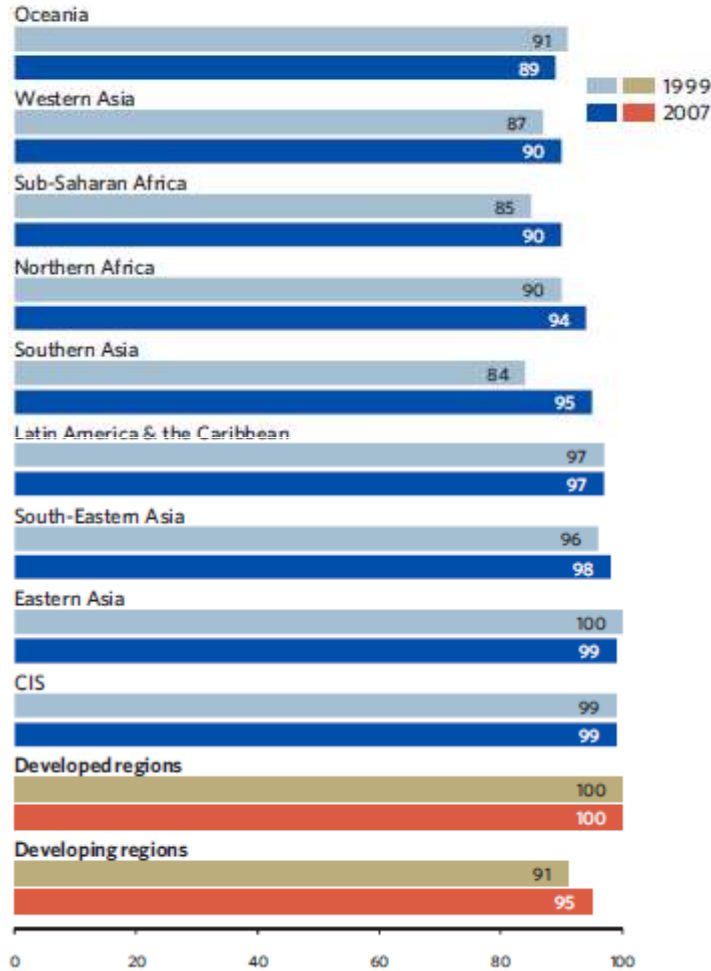


\* Defined as the number of pupils of the theoretical school age for primary education enrolled either in primary or secondary school, expressed as a percentage of the total population in that age group.

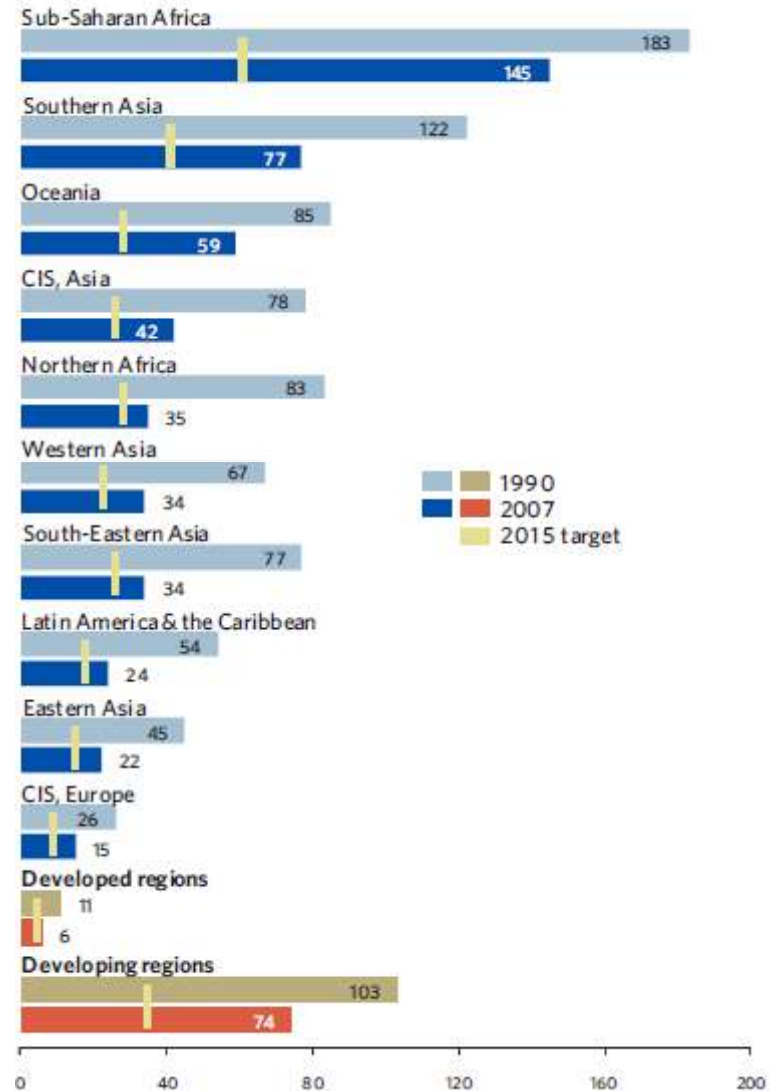
Note: Data for Oceania are not available.

# 国際連合と専門機関の統計

Girls' primary school enrolment in relation to boys', 1998/1999 and 2006/2007 (Girls per 100 boys)

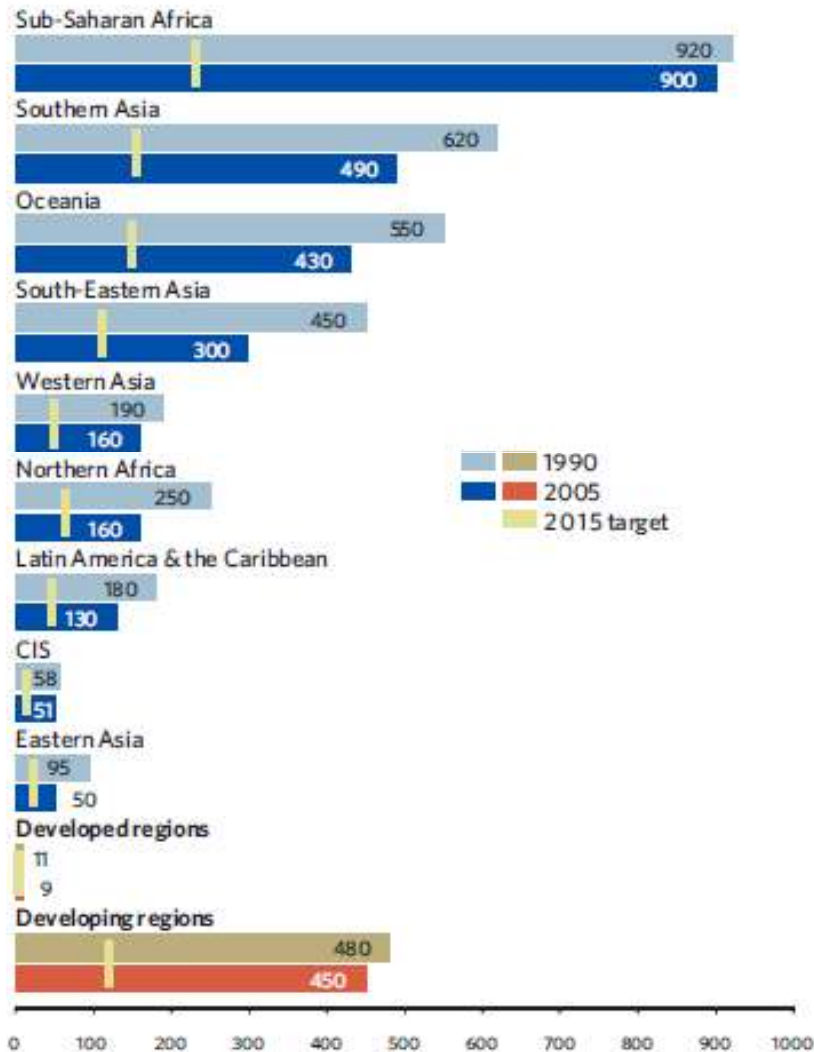


Under-five mortality rate per 1,000 live births, 1990 and 2007

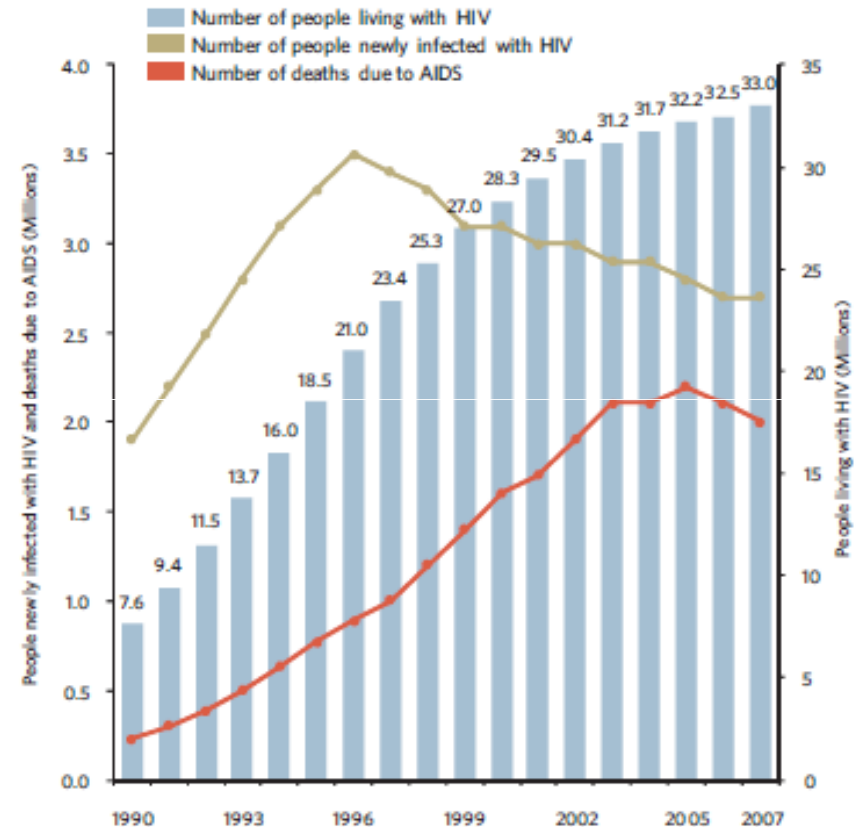


# 国際連合と専門機関の統計

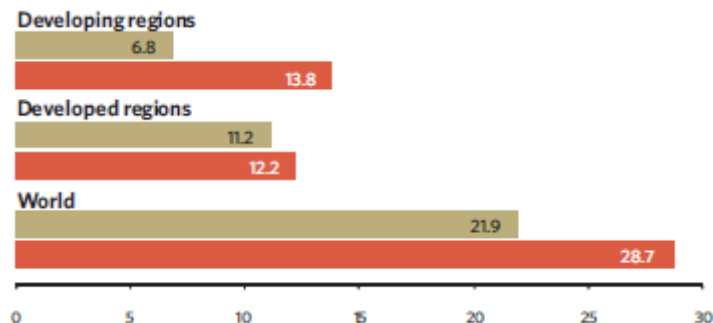
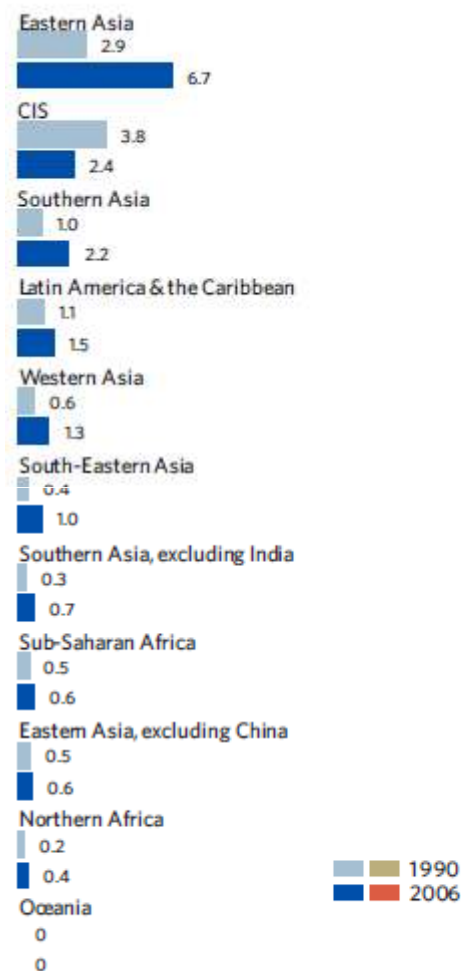
Maternal deaths per 100,000 live births, 1990 and 2005



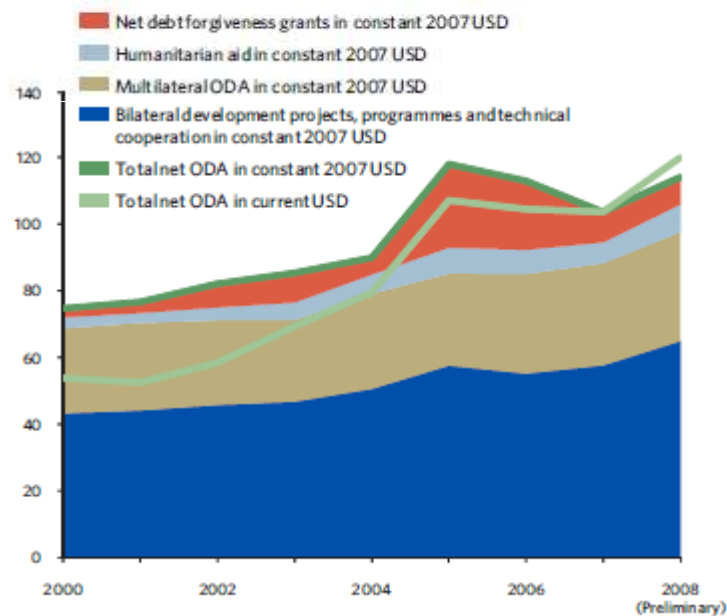
Number of people living with HIV, number of people newly infected with HIV and number of AIDS deaths in the world (Millions), 1990-2007



Emissions of carbon dioxide (CO<sub>2</sub>), 1990 and 2006 (Billions of metric tons)



Official development assistance (ODA) from developed countries, 2000-2008 (Constant 2007 US dollars and current US dollars, billions)



出典: UN “The Millennium Development Goals Report 2009”

[http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Products/Progress2009/MDG\\_Report\\_2009\\_En.pdf](http://mdgs.un.org/unsd/mdg/Resources/Static/Products/Progress2009/MDG_Report_2009_En.pdf)

日本語版は2005年版がある模様 [http://www.unic.or.jp/pdf/MDG\\_Report\\_2005.pdf](http://www.unic.or.jp/pdf/MDG_Report_2005.pdf)

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

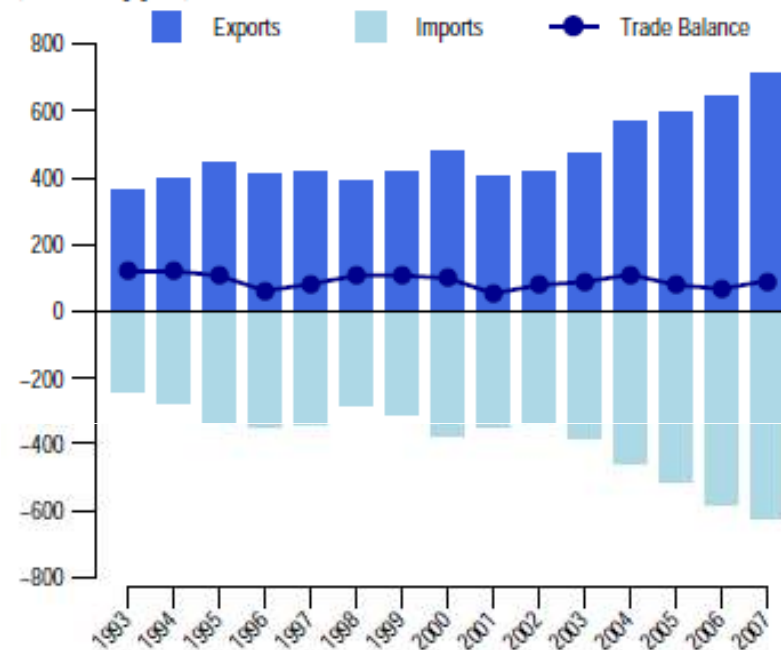


# 国際連合と専門機関の統計

- UN Commodity Trade Statistics Database
  - 国毎の財の輸出入量・金額に関する統計
    - 5桁の標準国際貿易分類(SITC)で整理
      - 0:食料品及び動物(食用)
      - 1:飲料及びたばこ
      - 2:非食品原材料(鉱物性燃料は除く)
      - 3: 鉱物性燃料
      - 4: 動植物性油脂
      - 5: 化学製品
      - 6: 工業製品
      - 7: 機械類, 輸送用機器
      - 8: 雑製品
      - 9: その他

# 国際連合と専門機関の統計

Graph 1: Total imports, exports and trade balance  
(Bln US\$ by year)



## Exports Profile (See tables 1, 3 and 4):

Japan exports were largely machinery and transport equipment (SITC section 7). It accounted for 63.3 percent of exports in 2007. Other major commodity groups included manufactured goods classified chiefly by material (SITC section 6), chemicals and related products (SITC section 5) and miscellaneous manufactured articles (SITC section 8): they accounted respectively for 11.7, 9.1 and 7.3 percent of exports. The USA, China and the Republic of Korea were the top three markets for exports in 2007. From 2005 to 2007, top exported products were motor vehicles for the transport of persons (HS code 8703), electronic integrated circuits and microassemblies (HS code 8542) and parts and accessories of motor vehicles such as tractors, buses and motor vehicles designed for the transport of goods (HS code 8708).

Table 1: Exports by SITC sections

(Value in million US\$, growth and shares in percentage)

SITC	2007	Avg. Growth rates (%)		2007 share
		2003-2007	2006-2007	
Total	714 327.0	10.9	10.5	100.0
0+1	3 531.3	11.4	15.4	0.5
2+4	9 038.2	20.0	14.6	1.3
3	9 279.8	56.2	57.4	1.3
5	65 191.3	13.7	12.7	9.1
6	83 627.9	14.4	12.8	11.7
7	451 951.8	9.4	9.7	63.3
8	52 491.8	7.0	-0.3	7.3
9	39 215.0	17.7	17.8	5.5

Table 2: Imports by SITC sections

(Value in million US\$, growth and shares in percentage)

SITC	2007	Avg. Growth rates (%)		2007 share
		2003-2007	2006-2007	
Total	622 243.3	12.9	7.5	100.0
0+1	51 327.1	3.9	4.7	8.2
2+4	50 702.1	19.7	18.4	8.1
3	172 784.8	20.8	6.9	27.8
5	45 521.2	11.5	11.5	7.3
6	60 475.0	16.0	11.7	9.7
7	150 711.9	9.3	6.2	24.2
8	79 538.9	7.9	0.9	12.8
9	11 182.3	14.9	14.3	1.8

# 国際連合と専門機関の統計

Table 3: Top 10 export commodities 2005 to 2007

(Value in million US\$)

HS code	4-digit heading of Harmonized System 2002	Value (million US\$)			Unit value			SITC code
		2005	2006	2007	2005	2006	2007	
	ALL COMMODITIES.....	594 940.9	646 725.1	714 327.0				
8703	Motor cars and other motor vehicles principally designed for the transport .....	79 769.3	94 485.3	108 147.2	14.3	14.3	15.0	thsd US\$/unit 781
8542	Electronic integrated circuits and microassemblies.....	29 093.3	30 728.3	33 456.7				776
9999	Commodities not specified according to kind.....	26 158.2	30 288.1	35 597.2				931
8708	Parts and accessories of the motor vehicles of headings 87.01 to 87.05.....	25 277.4	25 867.2	28 429.3	10.0	10.0	10.2	US\$/kg 784
8479	Machines and mechanical appliances having individual functions.....	13 539.6	14 351.6	21 267.6				728
8901	Cruise ships, excursion boats, ferry-boats, cargo ships, barges and similar .....	11 365.7	13 608.0	14 893.4				793
8525	Transmission apparatus for radio-telephony, radio-broadcasting.....	13 698.5	12 858.5	12 309.7				764
8473	Parts and accessories for use with machines of heading 84.69 to 84.72.....	15 654.7	15 901.0	3 681.1	62.5	58.4	132.5	US\$/kg 759
8529	Parts suitable for use with the apparatus of headings 85.25 to 85.28.....	10 756.0	12 553.3	9 115.7	117.9	89.8	68.1	US\$/kg 764
8541	Diodes, transistors and similar semiconductor devices.....	9 374.9	10 200.9	10 715.7				776

Table 5: Top 10 import commodities 2005 to 2007

(Value in million US\$)

HS code	4-digit heading of Harmonized System 2002	Value (million US\$)			Unit value			SITC code
		2005	2006	2007	2005	2006	2007	
	ALL COMMODITIES.....	515 866.4	579 063.9	622 243.3				
2709	Petroleum oils, crude.....	79 772.9	98 972.1	103 830.2	0.4	0.5	0.5	US\$/kg 333
2711	Petroleum gases and other gaseous hydrocarbons.....	24 198.2	30 955.5	35 156.3				343
8542	Electronic integrated circuits and microassemblies.....	18 605.2	21 794.8	21 482.4				776
8471	Automatic data processing machines and units thereof.....	18 717.1	18 073.7	13 825.3	137.1	128.4	118.3	US\$/unit 752
2710	Petroleum oils, other than crude.....	13 033.6	15 736.4	16 863.2				334
2701	Coal; briquettes, ovoids and similar solid fuels manufactured from coal.....	13 704.1	13 862.3	14 811.2	0.1	0.1	0.1	US\$/kg 321
9999	Commodities not specified according to kind.....	7 890.7	8 854.8	10 217.7				931
2603	Copper ores and concentrates.....	4 819.5	9 171.7	10 860.8	1.1	2.0	2.2	US\$/kg 283
8703	Motor cars and other motor vehicles principally designed for the transport .....	8 105.4	7 654.0	7 692.7	28.3	27.0	26.1	thsd US\$/unit 781
2601	Iron ores and concentrates.....	5 577.7	7 170.4	8 827.0				281

出典: UN, "UN Comtrade Yearbook Japan" <http://comtrade.un.org/pb/CountryPagesNew.aspx?y=2008>

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

19

# 国際連合と専門機関の統計

- 人間開発報告書
  - UNDPが1990年より作成している報告書
    - 国内総生産(GDP)より幅広い定義で生活の豊かさを測るべく、人間開発に関わる3つの側面を組み合わせた指数「人間開発指数」を作成している
  - 毎年特定のテーマを定めた分析が行われている
    - 2009年:「障壁を乗り越えて一人の移動と開発」、
    - 2007/2008年:「気候変動との戦い-分断された世界で試される人類の団結」
    - 2006年:「水危機神話を越えて:水資源をめぐる権力闘争と貧困、グローバルな課題」
    - 2005年:「岐路に立つ国際協力:不平等な世界での援助、貿易、安全保障」
    - 2004年:「この多様な世界で文化の自由を」
    - 2003年:「ミレニアム開発目標(MDGs)と人間開発」
    - 2002年:「ガバナンスと人間開発」
    - 2001年:「新技術と人間開発」 . . . 等

# 国際連合と専門機関の統計

- 人間開発報告書

- 人間開発指数

- 人間開発指数の要素

- 「健康で長生き」: 平均余命

- 「教育」: 成人識字率および初・中・高等教育の総就学率

- 「人間らしい水準の生活」: 米ドル建て購買力平価(PPP)に換算された1人当たりのGDP

- これらの指数を単純平均してHDIを作成

- 人間開発指数の問題点

- 人間開発指数はジェンダー、所得の不平等、人権の尊重、政治的自由といった指標を含んでいない

- 3つの指数の計算方法や三つの指数を単純平均することの経済学的根拠は殆ど無い

# 国際連合と専門機関の統計

- 人間開発報告書
  - ジェンダー開発指数(GDI)
    - ジェンダー格差の分だけHDIを低下させて作成
  - ジェンダー・エンパワーメント指数
    - 女性の政治参加や経済界における活躍、意思決定に参加できるかどうかを表す指数
  - 人間貧困指数
    - 生存・知識・生活水準の剥奪の程度を表す指数
    - 途上国に適用するHPI-1と、OECD諸国に適用するHPI-2がある

# 国際連合と専門機関の統計

【表 1】 日本の人間開発指数 (2007 年集計)

人間開発指数 (HDI 値)	出生時の平均余命 (歳)	初・中・高等教育の 総就学率 (%)	1人当たり GDP (PPP 米ドル)
1. ノルウェー (0.971)	1. 日本 (82.7)	1. オーストラリア (114.2)	1. リヒテンシュタイン (85,382)
8. フランス (0.961)	2. 香港 (82.2)	40. ブラジル (87.2)	24. ドイツ (34,401)
9. スイス (0.960)	3. アイスランド (81.7)	41. リヒテンシュタイン (86.8)	25. フランス (33,674)
10. 日本 (0.960)	4. スイス (81.7)	42. 日本 (86.6)	26. 日本 (33,632)
11. ルクセンブルク (0.960)	5. オーストラリア (81.4)	43. ボリビア (86.0)	27. スペイン (31,560)
12. フィンランド (0.959)	6. イタリア (81.1)	44. ベネズエラ (85.9)	28. 赤道ギニア (30,627)
182. ニジェール (0.340)	176. アフガニスタン (43.6)	177. ジブチ (25.5)	181. コンゴ共和国 (298)

出典: JICA 研究所『指標から国を見る —マクロ経済指標、貧困指標、ガバナンス指標の見方—』

[http://www.jica.or.id/jica-ri/publication/archives/jica/field/200803\\_aid02.html](http://www.jica.or.id/jica-ri/publication/archives/jica/field/200803_aid02.html)

# 国際連合と専門機関の統計

【表 2】 ジェンダー開発指数(GDI)対人間開発指(HDI)値 -ジェンダー格差を表す指標

GDI の対 HDI 比率 (%)	出生時の平均余命 (歳) 2004 年	初・中・高等教育 の総就学率 (%)
	女性数値の対男性数値比率	女性数値の対男性数値比率
1. モンゴル(100.0%)	1. ロシア(121.7%)	1. キューバ(121.0%)
107. アイスランド(98.5%)	2. サモア(109.2%)	115. ガイアナ(98.0%)
108. セネガル(98.5%)	36. ガイアナ(109.2%)	116. ウガンダ(98.0%)
109. 日本 (98.4%)	37. 日本 (109.1%)	117. 日本 (97.4%)
110. アルジェリア(98.4%)	38. フランス(109.1%)	118. 香港 (97.4%)
111. イラン(98.4%)	39. フィンランド(108.9%)	119. モーリシャス(97.1%)
155. アフガニスタン(88.0%)	181. スイス(98.0%)	175. アフガニスタン(55.6%)

出典: JICA 研究所『指標から国を見る —マクロ経済指標、貧困指標、ガバナンス指標の見方—』

[http://www.jica.or.id/jica-ri/publication/archives/jica/field/200803\\_aid02.html](http://www.jica.or.id/jica-ri/publication/archives/jica/field/200803_aid02.html)



# 国際連合と専門機関の統計

HDI rank	Human poverty index (HPI-2)		Probability at birth of not surviving to age 60 <sup>a</sup> (% of cohort) 2005–2010	People lacking functional literacy skills <sup>b</sup> (% aged 16–65) 1994–2003	Long-term unemployment <sup>c</sup> (% of labour force) 2007	Population living below 50% of median income <sup>d</sup> 2000–2005 <sup>e</sup>	HPI-2 rank minus income poverty rank <sup>f</sup>
	Rank	Value (%)					
<b>VERY HIGH HUMAN DEVELOPMENT</b>							
1 Norway	2	6.6	6.6	7.9	0.2	7.1	-6
2 Australia	14	12.0	6.4	17.0*	0.7	12.2	-4
3 Iceland	..	..	5.4	..	0.1	..	..
4 Canada	12	11.2	7.3	14.6	0.4	13.0	-8
5 Ireland	23	15.9	6.9	22.6*	1.4	16.2	0
6 Netherlands	3	7.4	7.1	10.5*	1.3	4.9 <sup>g</sup>	1
7 Sweden	1	6.0	6.3	7.5*	0.7	5.6	-3
8 France	8	11.0	7.7	.. <sup>h</sup>	3.1	7.3	-1
9 Switzerland	7	10.6	6.4	15.9	1.5	7.6	-3
10 Japan	13	11.6	6.2	.. <sup>h</sup>	1.2	11.8 <sup>h</sup>	-4
11 Luxembourg	10	11.2	7.8	.. <sup>h</sup>	1.3	8.8	-4
12 Finland	5	7.9	8.2	10.4*	1.5	6.5	-1
13 United States	22	15.2	9.7	20.0	0.5	17.3	-2
14 Austria	9	11.0	7.6	.. <sup>h</sup>	1.2	7.7	-2
15 Spain	17	12.4	7.1	.. <sup>h</sup>	2.0	14.2	-4
16 Denmark	4	7.7	9.2	9.6*	0.7	5.6	1
17 Belgium	15	12.2	8.0	18.4 <sup>h</sup>	3.8	8.1	3
18 Italy	25	29.8	6.8	47.0	2.8	12.8	6
20 New Zealand	..	..	7.6	18.4*	0.2	..	..
21 United Kingdom	21	14.6	7.8	21.8*	1.3	11.6	5
22 Germany	6	10.1	7.6	14.4*	4.8	8.4	-7
25 Greece	18	12.5	7.0	.. <sup>h</sup>	4.1	14.3	-4
26 Korea (Republic of)	..	..	8.1	..	0.0	..	..
34 Portugal	..	..	8.7	..	3.7	..	..
36 Czech Republic	11	11.2	10.2	.. <sup>h</sup>	2.8	4.9 <sup>g</sup>	10
<b>HIGH HUMAN DEVELOPMENT</b>							
41 Poland	19	12.8	13.2	.. <sup>h</sup>	4.4	11.5	4
42 Slovakia	16	12.4	13.3	.. <sup>h</sup>	7.8	7.0 <sup>g</sup>	9
43 Hungary	20	13.2	16.4	.. <sup>h</sup>	3.5	6.4 <sup>g</sup>	15
53 Mexico	24	28.1	13.0	43.2 <sup>h</sup>	0.1	18.4	-1
79 Turkey	..	..	14.9	..	3.1	..	..

出典：UNDP HPI <http://hdr.undp.org/en/statistics/indices/hpi/>

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

25

# 国際連合と専門機関の統計

- 世界子供白書

- UNICEFが毎年作成する子供の健康に関連した統計書

- なぜ子供の健康か？

- 1978年:アルマ・アタ宣言

- WHOとUNICEFによる会議にて、参加134カ国が「2000年までにすべての人に健康を」としたアルマ・アタ宣言に合意

- それまでまでの西洋モデルの失敗を踏まえ、不健康の社会的、経済的、政治的原因を解決しようとする包括的プライマリ・ヘルス・ケア(PHC)と呼ばれるモデルを採用

- 1983年:UNICEF「子どもの生存と発達革命」

- 1980年代の不況、財政問題等から、包括的PHCは実行困難と見なされるようになり、対象を制限した選択的PHCが採用される

- 2000年までに途上国の子供の死亡率を半減させることを目標として、能率的で安上がりで、より実行可能なプログラムとして策定

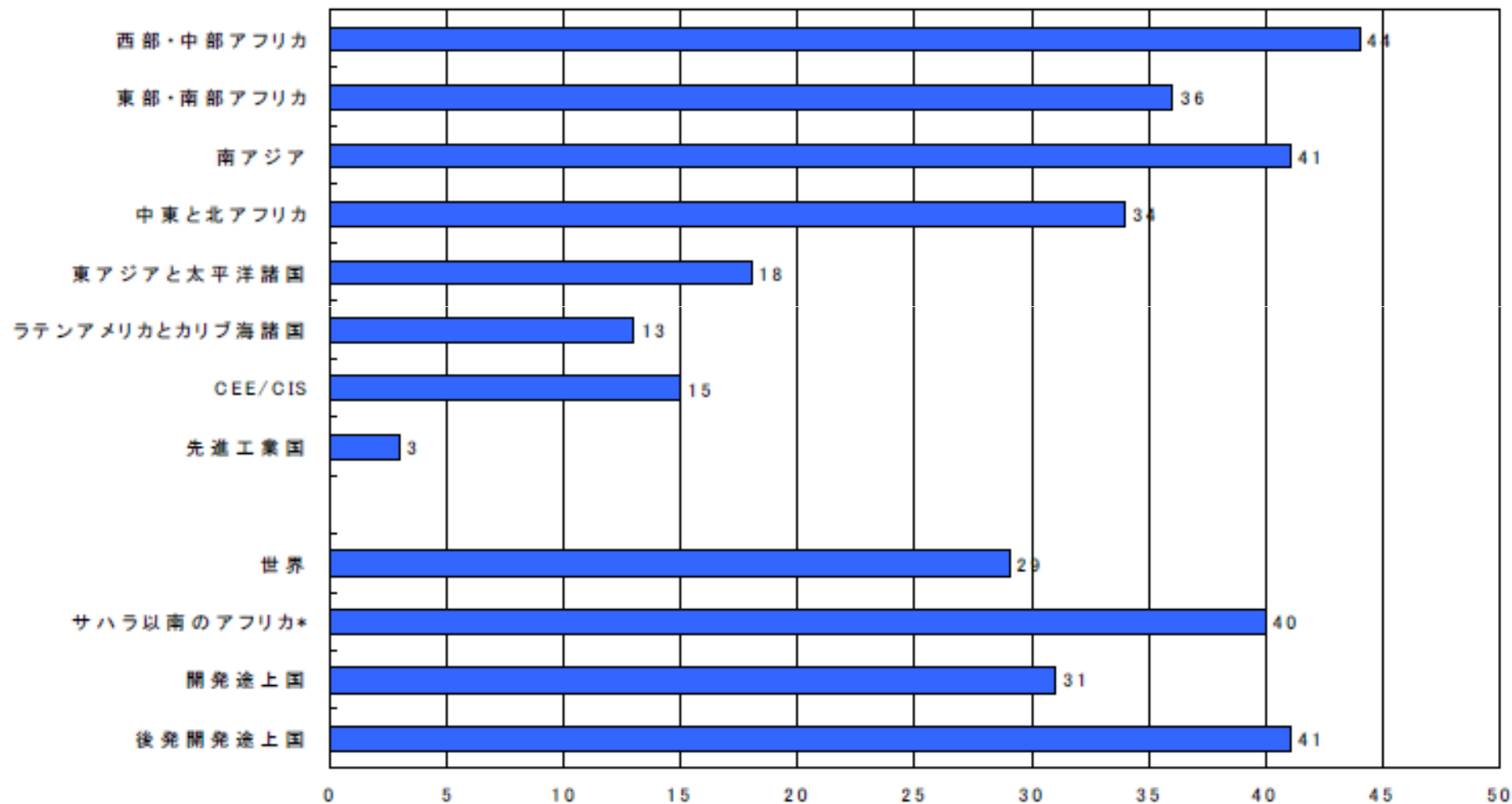
- 成長記録・経口補水療法・母乳栄養・予防接種に焦点

# 国際連合と専門機関の統計

- 世界子供白書
  - 基本統計、栄養指標、保険指標、HIV/エイズ指標、教育指標、人口統計指標、経済指標、助成指標、子どもの保護、前進の速度、等の統計を掲載
  - [http://www.unicef.or.jp/library/library\\_wdb.html](http://www.unicef.or.jp/library/library_wdb.html)

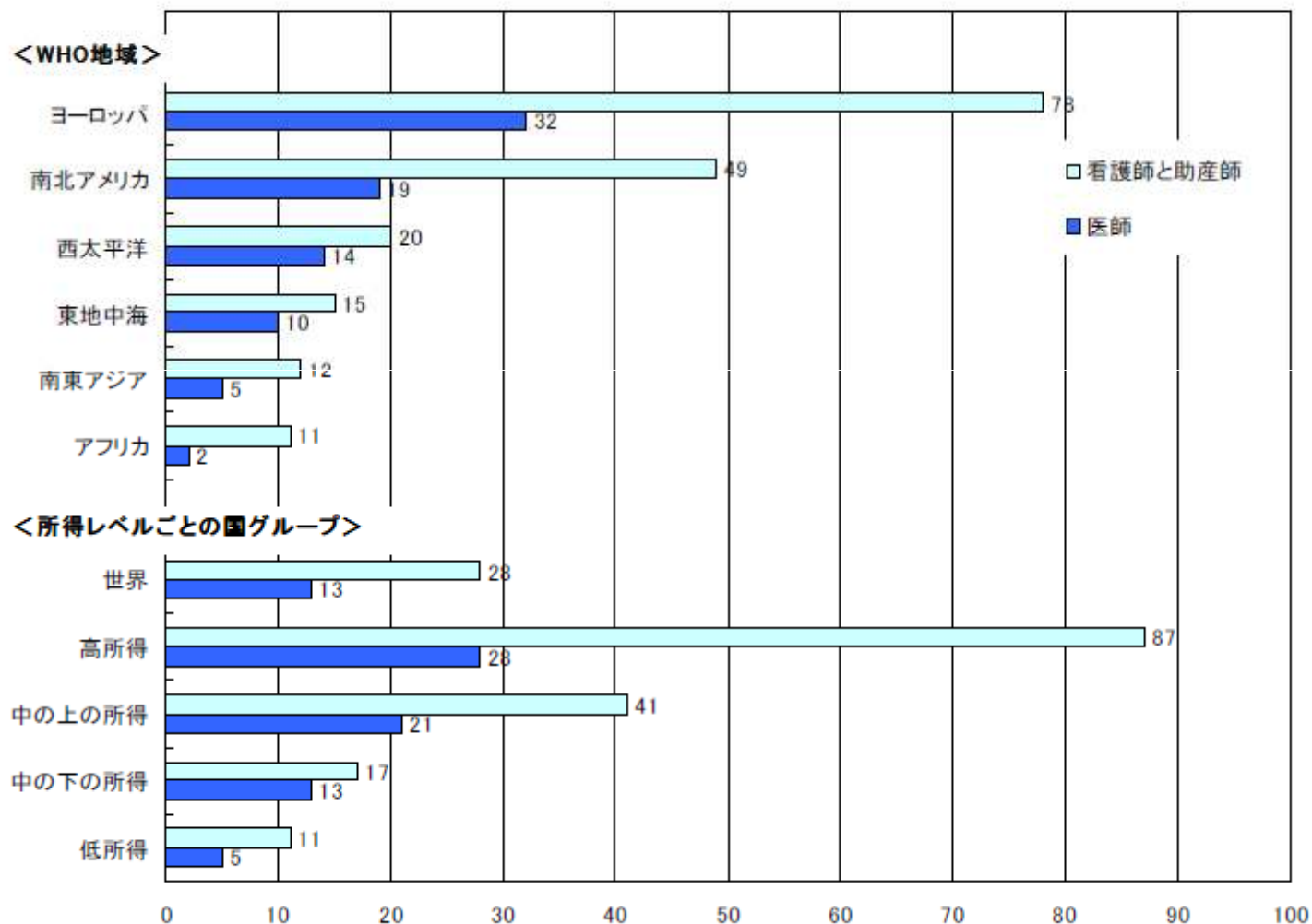
# 国際連合と専門機関の統計

出生1,000あたりの新生児死亡数(出生後0~28日以内)、2004年



# 国際連合と専門機関の統計

人口1万人あたりの専門技能を有する保健従事者(医師、看護師、助産師)の数、2005年



# 国際連合と専門機関の統計

- 世界投資報告書

- 国連貿易開発会議 (UNCTAD) が1991年より毎年作成している報告書

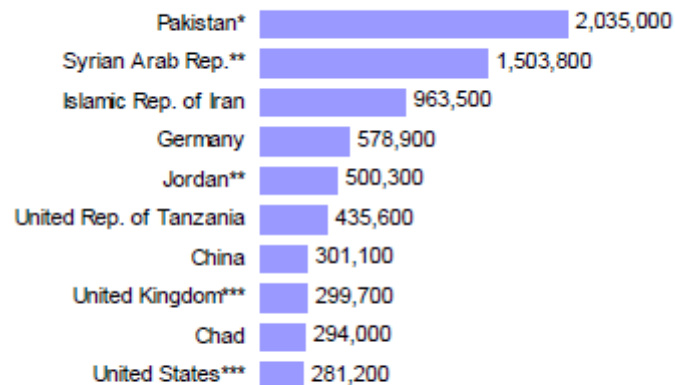
- Global crisis ends six-year FDI boom in Africa, report finds: FDI flows of selected countries in Africa, 2008-2009, by quarter (Millions of dollars)

Country	FDI inflows					FDI outflows				
	2008:Q1	2008:Q2	2008:Q3	2008:Q4	2009:Q1	2008:Q1	2008:Q2	2008:Q3	2008:Q4	2009:Q1
Cape Verde	73	50	46	44	24	-	-	-	-	-
Egypt	3 482	1 985	1 655	2 373	1 211	214	702	700	305	75
Gambia	17	17	15	15	11	..	..	..	..	..
Ghana	132	205	1 361	422	372	2	1	1	1	8
Lesotho	54	53	53	41	43	..	..	..	..	..
Mauritius	60	70	122	126	39	19	15	7	12	6
Seychelles	66	71	168	59	44	2	3	3	2	2
South Africa	5 642	793	2 879	328	1 175	940	360	1 496	-5 113	439
Tunisia	659	714	618	771	304	..	..	..	..	..
Uganda	209	209	211	159	183	..	..	..	..	..
Zimbabwe	15	-	37	-	15	2	2	3	2	-
<i>Total</i>	<i>10 408</i>	<i>4 165</i>	<i>7 164</i>	<i>4 339</i>	<i>3 422</i>	<i>1 179</i>	<i>1 082</i>	<i>2 209</i>	<i>-4 792</i>	<i>531</i>

# 国際連合と専門機関の統計

- UNHCR Statistical Yearbook
  - 国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)が毎年作成している報告書
    - 難民の数、受け入れ国等の統計が掲載されている
    - 難民の定義: 難民条約(1951)「人種、宗教、国籍若しくは特定の社会的集団の構成員であること又は政治的意見を理由に迫害を受けるおそれがあるという十分に理由のある恐怖を有するために、国籍国の外にいる者・・・」

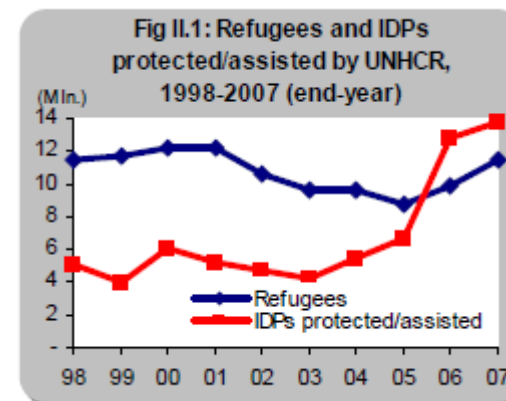
Fig II.3. Major refugee hosting countries, end-2007



\* Includes Afghans in a refugee-like situation.

\*\* Government estimate.

\*\*\* UNHCR estimate based on 10 years of individual recognition of asylum-seekers. Figure excludes resettled refugees.



# 国際連合と専門機関の統計

- 世界銀行とは
  - 第二次世界大戦中の連合国が戦後の復興のためにIMFと共に設立
  - 世界銀行
    - 国際復興開発銀行(IBRD)
      - 中所得国および信用力のある貧困国の持続可能な開発を推進することで、これらの国の貧困を削減する
    - 国際開発協会(IDA)
      - 途上国のなかでも特に貧しい国々を支援するため、IBRDの姉妹機関として1960年に設立
  - 世界銀行グループ
    - 以下の3機関を加えたものを、世界銀行グループと呼ぶ
    - 国際金融公社(IFC)
      - 途上国の民間セクターの活動を支援することにより、途上国の経済開発を促進する
    - 多数国間投資保証機関(MIGA)
      - 投資家が途上国に投資を行う際の非商業リスク(収用、通貨の兌換停止・送金制限、戦争や内乱、契約不履行など)を保証することで、途上国に対する外国直接投資を促進
    - 国際投資紛争解決センター(ICSID)
      - 国際投資紛争の調停と仲裁を行う場を提供することで、外国投資の促進に貢献



# 国際連合と専門機関の統計

- 世界銀行の人事

- 世界銀行総裁

- 総裁はアメリカから選出される事が暗黙の了解となっている
    - 現在の総裁は前共和党政権の国務副長官を勤めたロバート・ゼーリック

- 1980年に服部正也氏が日本人初の副総裁に就任している

- 世界銀行チーフエコノミスト

- 副総裁として世界銀行の開発戦略と経済調査のアジェンダ全般を経済学的見地から牽引する役割を担っている
    - 歴代チーフエコノミストには著名な経済学者が採用される
    - 現チーフエコノミストは北京大学教授Lin Yifu(林毅夫)

# 国際連合と専門機関の統計

- 世界銀行の統計

- World Development Indicators (WDI)

- 209カ国の人口・所得・インフラ・教育・貧困など様々な経済活動に関わるデータを収録

- World Development Report

- 世界銀行の作成する白書に相当
- 毎年様々な開発に関わる課題について整理している
  - 2011年「紛争・安全保障と開発」
  - 2010年「気候変動と開発」
  - 2009年「変わりつつある世界経済地理」
  - 2008年「開発のための農業」
  - 2007年「経済開発と次世代」 . . . 等

# 国際連合と専門機関の統計

IBRD (単位: 100万ドル)

	2009年度	2008年度	2007年度	2006年度	2005年度
承認額	32,911	13,468	12,829	14,135	13,611
うち開発政策融資	15,532	3,967	3,635	4,906	4,264
プロジェクト数	126	99	112	113	118
うち開発政策融資	34	16	22	21	23
実行総額	18,564	10,490	11,055	11,833	9,722
うち開発政策融資	9,138	3,485	4,096	5,406	3,605
元本返済額(前納分を含む)	10,217	12,610	17,231	13,600	14,809
実行純額	8,347	(2,120)	(6,176)	(1,767)	(5,087)
融資残高	105,698	99,050	97,805	103,004	104,401
未実行額	51,125	38,176	35,440	34,938	33,744
業務利益 <sup>a</sup>	572	2,271	1,659	1,740	1,320
利用可能資本および準備金	36,303	36,888	33,754	33,339	32,072
資本/貸出比率	35%	38%	35%	33%	31%

a. IBRDの財務諸表では「非商品勘定ポートフォリオについて公正価値調整を行う前の純利益で、総務会承認済の移転前のもの」として報告されている。

## IBRDの主要財務指標 | 2005～2009年度

(単位: 100万ドル)

	2005	2006	2007	2008	2009
業務利益 <sup>a</sup>	1,320	1,740	1,659	2,271	572
融資残高	104,401	103,004	97,805	99,050	105,698
総資産	222,008	212,326	208,030	233,311 <sup>b</sup>	275,420
自己資本	38,588	36,474	39,926	41,548	40,037

a. IBRDの財務諸表では「非商品勘定ポートフォリオについて公正価値調整を行う前の純利益で、総務会承認済の移転前のもの」として報告されている。

b. 本年度の表示と一致させるため行った一定の組換えの効果が反映されるよう再表示。

出典: 世界銀行「2009年度年次報告書」

# 国際連合と専門機関の統計

IDA (単位: 100万ドル)

	2009年度	2008年度	2007年度	2006年度	2005年度
承認額	14,041 <sup>a</sup>	11,235	11,867	9,506	8,696
うち開発政策融資	2,820	2,672	2,645	2,425	2,331
プロジェクト数	176	199	188	173	165
うち開発政策融資	33	29	35	30	33
実行総額	9,219	9,160	8,579	8,910	8,950
うち開発政策融資	1,872	2,813	2,399	2,425	2,666
元本返済額	2,209	2,182	1,753	1,680	1,620
実行純額	7,010	6,978	6,826	7,230	7,330
融資残高	112,894	113,542	102,457	127,028	120,907
未実行額(融資)	29,903	27,539	24,517	22,026	22,330
未実行額(グラント)	5,652	5,522	4,642	3,630	3,021
開発グラント額	2,575	3,151	2,195	1,939	2,035

注: プロジェクト数には、追加融資により拡大されたプロジェクトを含む。

a. コートジボワールに対する4550万ドルのHIPCグラントを含む。

## IDAの主要財務指標 | 2005 ~ 2009年度

(単位: 100万ドル)

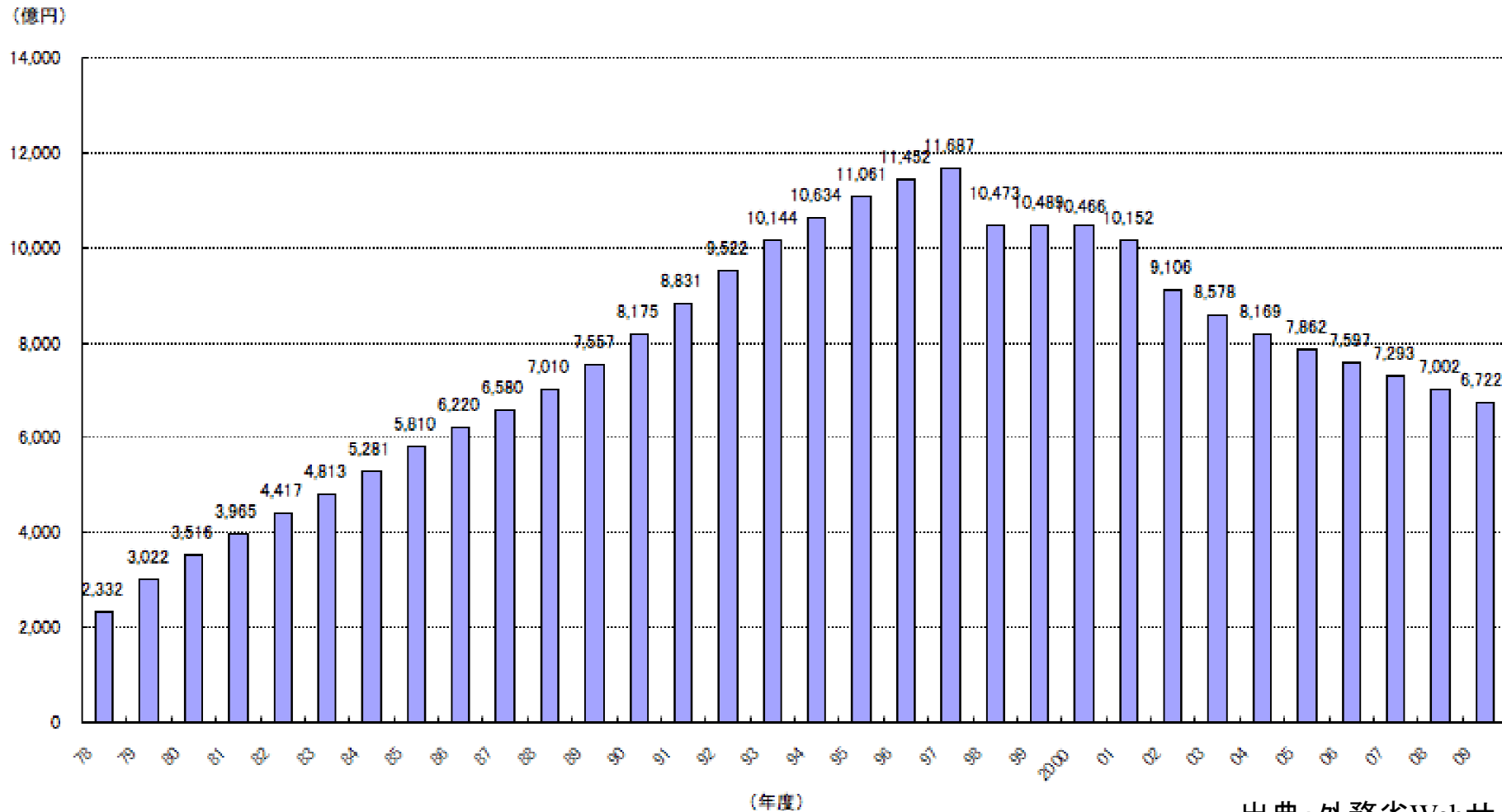
	2005	2006	2007	2008	2009
開発融資残高	120,907	127,028	102,457	113,542	112,894
開発原資の源泉合計/自己資本 <sup>a</sup>	130,378	102,871	110,212	123,619	127,950

a. 2007年6月期の会計年度までは、IDAは特定目的財務諸表を作成していた。2007年7月1日から、IDAの財務諸表は米国で一般に認められた会計原則(U.S. GAAP)に準拠して作成されている。

出典: 世界銀行「2009年度年次報告書」

# 国際連合と専門機関の統計

- 参考：日本のODA予算



出典：外務省Webサイト

# 国際連合と専門機関の統計

## IFCの主要財務指標 | 2005～2009年度

(単位：100万ドル)

	2005	2006	2007	2008	2009
業務利益(損失)	1,953	1,409	2,739 <sup>b</sup>	1,938 <sup>b</sup>	(153)
流動資産(関連デリバティブ控除後)	13,325	12,730	13,269	14,622	17,864
引当金控除後の投融資	11,489	12,787	15,796	23,319	22,214
資本合計	9,821	11,141	14,017	18,261	16,122

a. IFCの財務諸表では、「公正価格に基づくその他非事業金融資産の評価損益およびIDAへの贈与を考慮する前の収益(損失)」と報告されている。

b. 修正後。

## MIGAの主要財務指標 | 2005～2009年度

(単位：100万ドル)

	2005	2006	2007	2008	2009
業務利益	24	17	49	55	51
業務資本 <sup>a</sup>	830	863	950	1,019	1,044
保証残高純額	3,138	3,310	3,209	3,578	3,966
IDA適格国向けの保証残高純額	1,341	1,435	1,411	1,477	1,362

a. 業務資本には、払込資本、利益剰余金、および保険ポートフォリオ責任準備金(再保険金収入控除後)が含まれる。

出典：世界銀行「2009年度年次報告書」

# 国際連合と専門機関の統計

図3.1

IBRDとIDAの地域別融資 | 2009年度  
合計469億ドルに占める割合

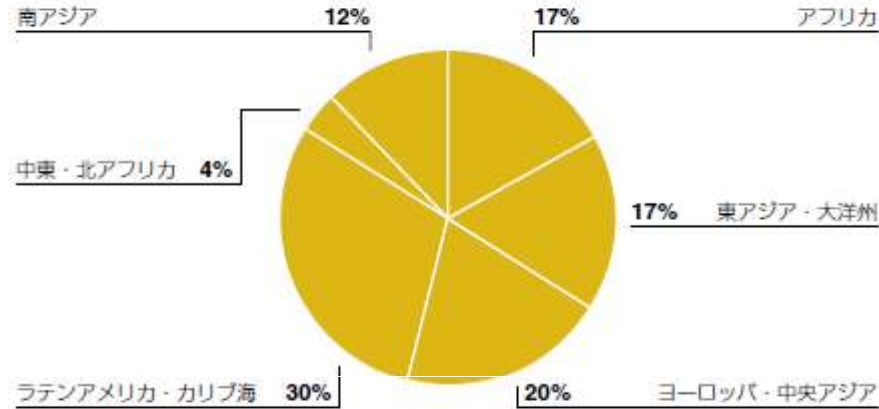


図3.2

IBRDとIDAのテーマ別融資 | 2009年度  
合計469億ドルに占める割合

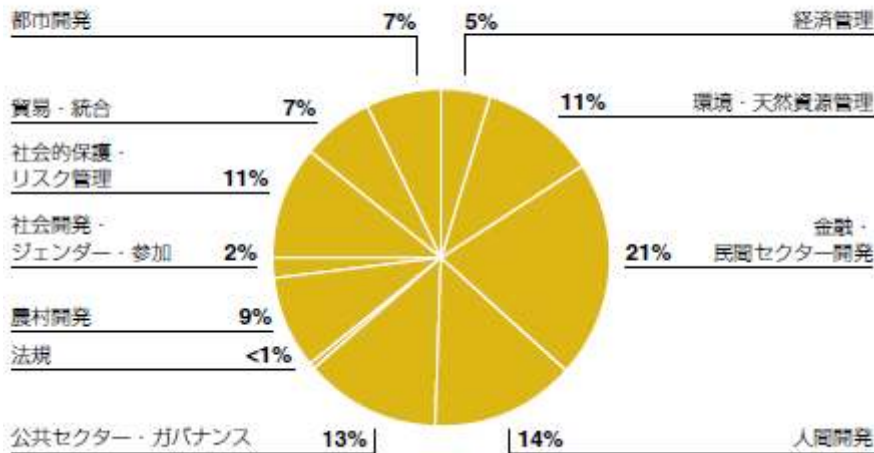
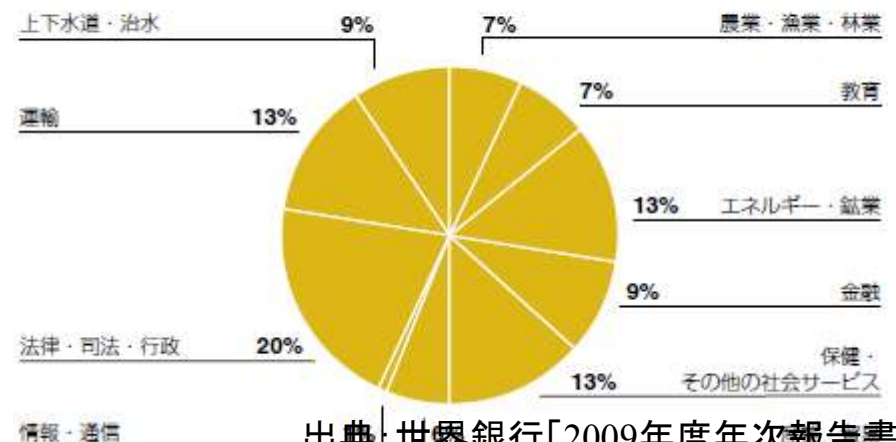


図3.3

IBRDとIDAのセクター別融資 | 2009年度  
合計469億ドルに占める割合



出典 | 世界銀行「2009年度年次報告書」

# 国際連合と専門機関の統計

## アフリカ地域の概要

総人口:	8億人
人口増加率:	2.5%
平均寿命:	52歳
乳幼児死亡率(出生1000件当たり):	89件
若い女性の識字率:	67%
HIV感染者・エイズ患者数:	2230万人
2008年の一人当たり国民総所得(GNI):	1,082ドル
一人当たりGDP指数(1998=100)	122

注:平均寿命、乳幼児死亡率(出生1000件当たり)、若い女性の識字率、HIV感染者・エイズ患者数は2007年、その他の指標は2008年の「世界開発指標」データベース、HIV感染者・エイズのデータは国連・世界保健機関「2008年エイズ流行に関する報告書」の数字です。

2009年度の 新規融資承認額	2009年度の 融資実行額
IBRD:3億6200万ドル	IBRD:1億2000万ドル
IDA:78億8700万ドル <sup>a</sup>	IDA:43億1700万ドル

2009年6月30日現在において実施中のプロジェクトのポートフォリオ:290億ドル  
a. コートジボワールに対する4550万ドルのHIPCグラントを含む。

図2.1

### アフリカ地域

IBRDとIDAのテーマ別融資 | 2009年度  
総融資額82億ドルに占める割合

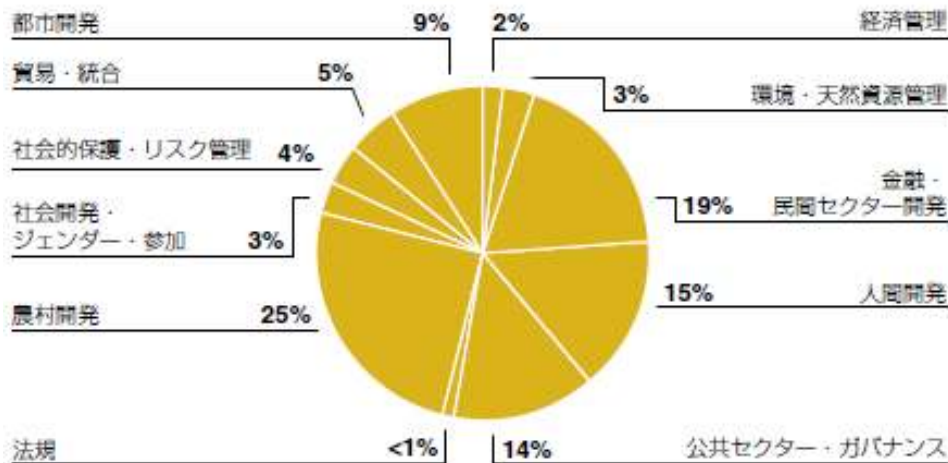
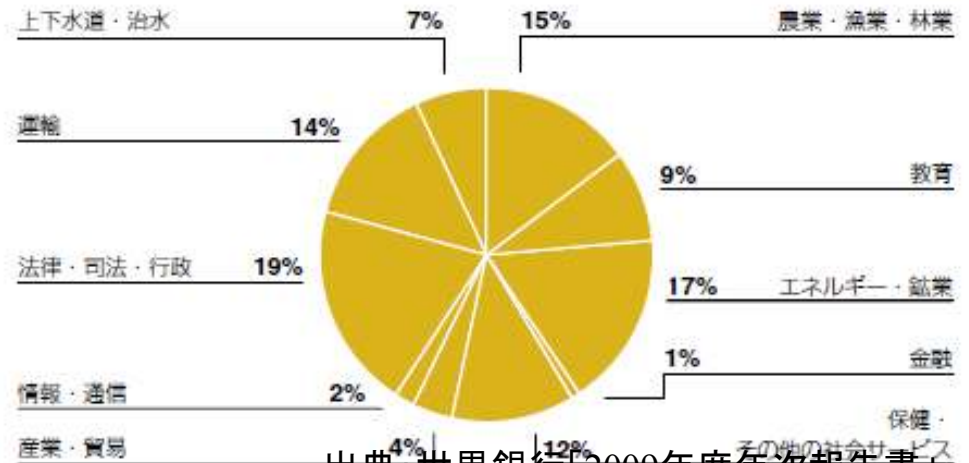


図2.2

### アフリカ地域

IBRDとIDAのセクター別融資 | 2009年度  
総融資額82億ドルに占める割合



出典:世界銀行「2009年度年次報告書」



# 国際連合と専門機関の統計

## 東アジア・大洋州地域の概要

総人口:	19億人
人口増加率:	0.8%
平均寿命:	72歳
乳幼児死亡率(出生1000件当たり):	22件
若い女性の識字率:	98%
HIV感染者・エイズ患者数:	240万人
2008年の一人当たり国民総所得(GNI):	2,515ドル
一人当たりGDP指数(1998=100)	207

注:平均寿命、乳幼児死亡率(出生1000件当たり)、若い女性の識字率、HIV感染者・エイズ患者数は2007年、その他の指標は2008年の「世界開発指標」データベース、HIV感染者・エイズのデータは国連・世界保健機関「2008年エイズ流行に関する報告書」の数字です。

2009年度の 新規融資承認額	2009年度の 融資実行額
IBRD: 69億500万ドル	IBRD: 32億7500万ドル
IDA: 12億4700万ドル	IDA: 12億5400万ドル

2009年6月30日現在において実施中のプロジェクトのポートフォリオ: 260億ドル

図2.3

### 東アジア・大洋州地域

IBRDとIDAのテーマ別融資 | 2009年度  
総融資額82億ドルに占める割合

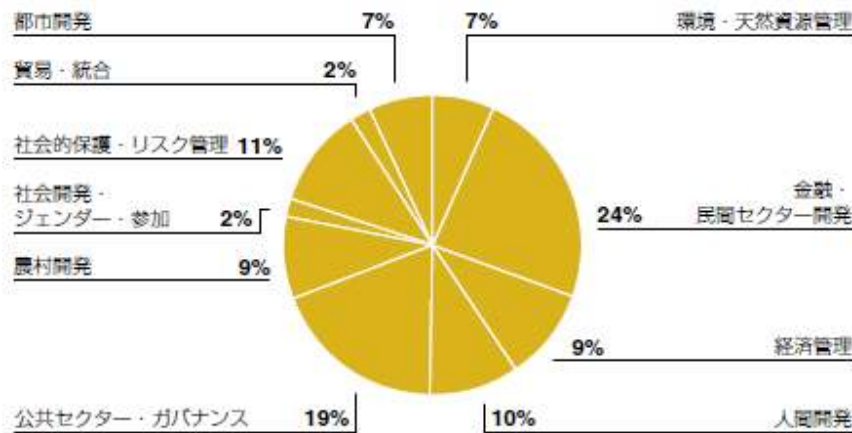
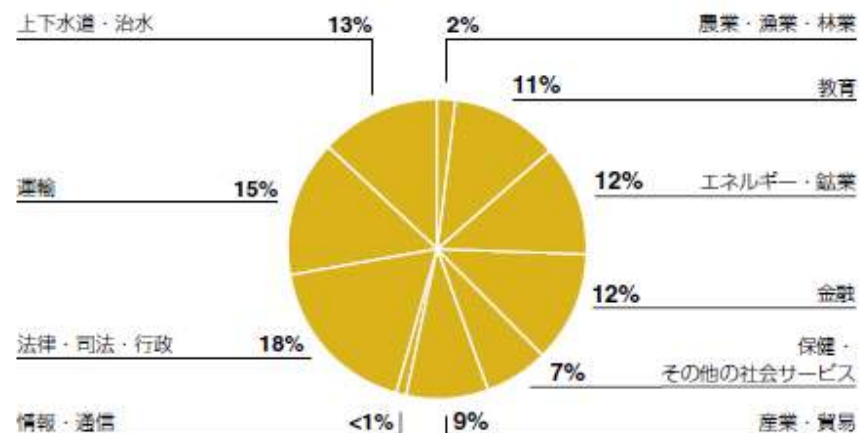


図2.4

### 東アジア・大洋州地域

IBRDとIDAのセクター別融資 | 2009年度  
総融資額82億ドルに占める割合



出典:世界銀行「2009年度年次報告書」

# 国際連合と専門機関の統計

## 南アジア地域の概要

総人口:	15億人
人口増加率:	1.5%
平均寿命:	65歳
乳幼児死亡率(出生1000件当たり):	59件
若い女性の識字率:	74%
HIV感染者・エイズ患者数:	260万人
2008年の一人当たり国民総所得(GNI):	986ドル
一人当たりGDP指数(1998=100)	164

2009年度の 新規融資承認額	2009年度の 融資実行額
IBRD: 12億8600万ドル	IBRD: 12億200万ドル
IDA: 41億4800万ドル	IDA: 27億9200万ドル

2009年6月30日現在において実施中のプロジェクトのポートフォリオ: 260億ドル

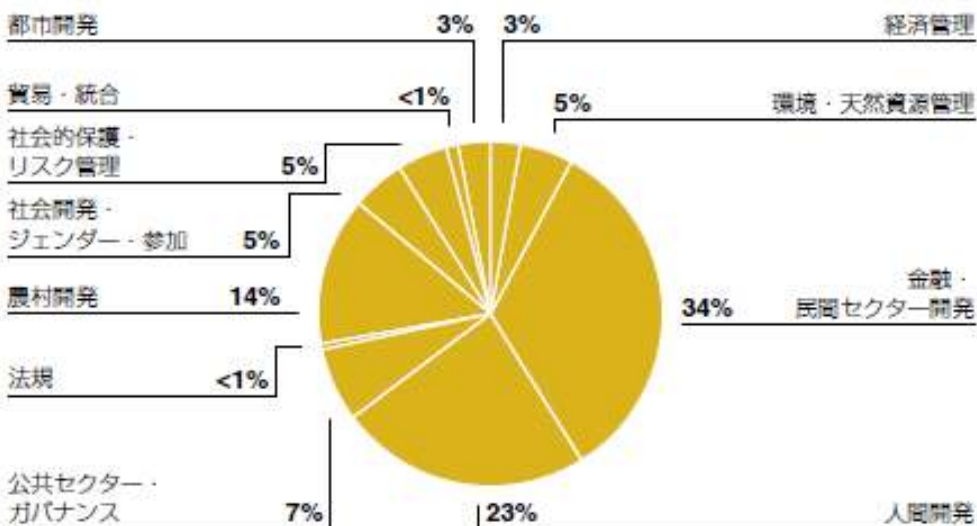
注: 平均寿命、乳幼児死亡率(出生1000件当たり)、若い女性の識字率、HIV感染者・エイズ患者数は2007年、その他の指標は2008年の「世界開発指標」データベース、HIV感染者・エイズのデータは国連・世界保健機関「2008年エイズ流行に関する報告書」の数字です。

図2.5

## 南アジア地域

### IBRDとIDAのテーマ別融資 | 2009年度

総融資額54億ドルに占める割合

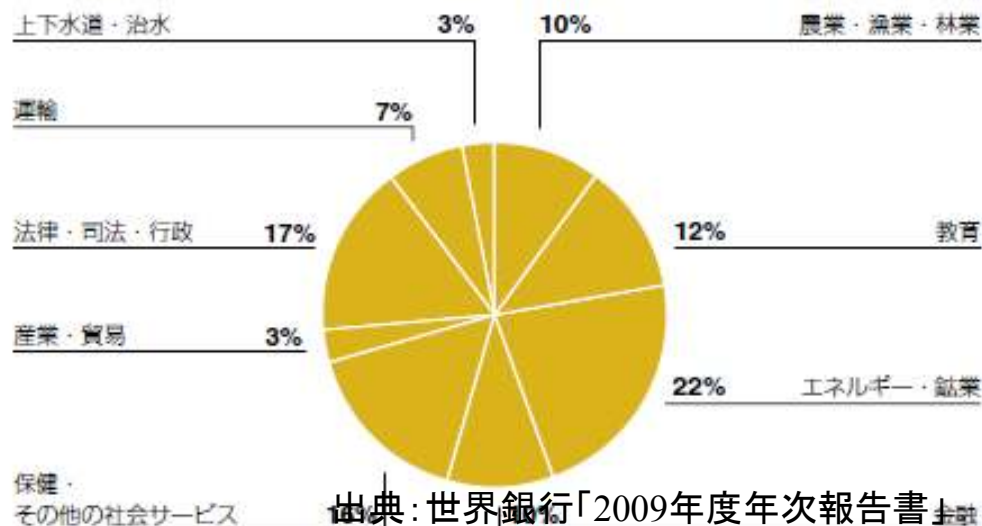


2010年1月18日

## 南アジア地域

### IBRDとIDAのセクター別融資 | 2009年度

総融資額54億ドルに占める割合



出典: 世界銀行「2009年度年次報告書」上巻

経済統計b: 第12回

42

# 国際連合と専門機関の統計

## ヨーロッパ・中央アジア地域の概要

総人口：	4億人
人口増加率：	0.3%
平均寿命：	70歳
乳幼児死亡率(出生1000件当たり)：	21件
若い女性の識字率：	99%
HIV感染者・エイズ患者数：	160万人
2008年の一人当たり国民総所得(GNI)：	7,418ドル
一人当たりGDP指数(1998=100)	170

2009年度の 新規融資承認額	2009年度の 融資実行額
IBRD：89億7800万ドル	IBRD：48億8700万ドル
IDA：3億8400万ドル	IDA：4億9300万ドル

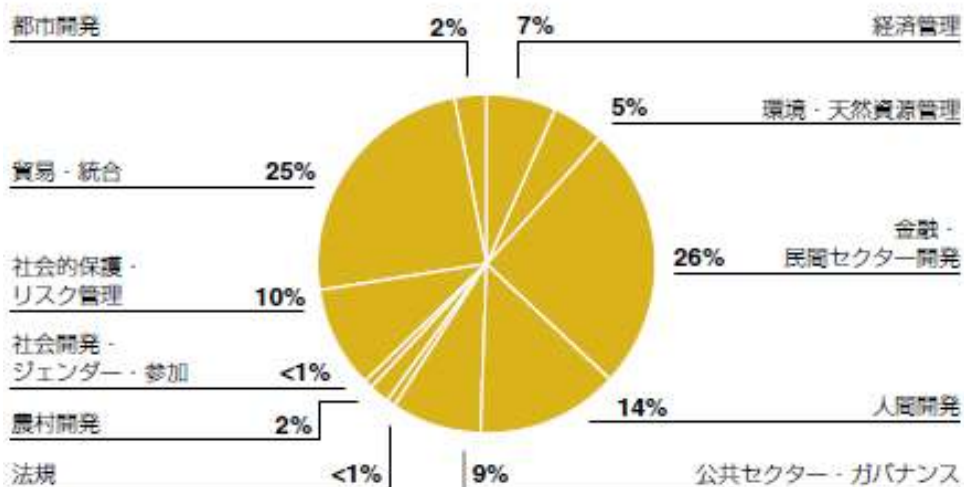
2009年6月30日現在において実施中のプロジェクトのポートフォリオ：210億ドル

注：平均寿命、乳幼児死亡率(出生1000件当たり)、若い女性の識字率、HIV感染者・エイズ患者数は2007年、その他の指標は2008年の「世界開発指標」データベース、HIV感染者・エイズのデータは国連・世界保健機関「2008年エイズ流行に関する報告書」の数字です。

図2.7

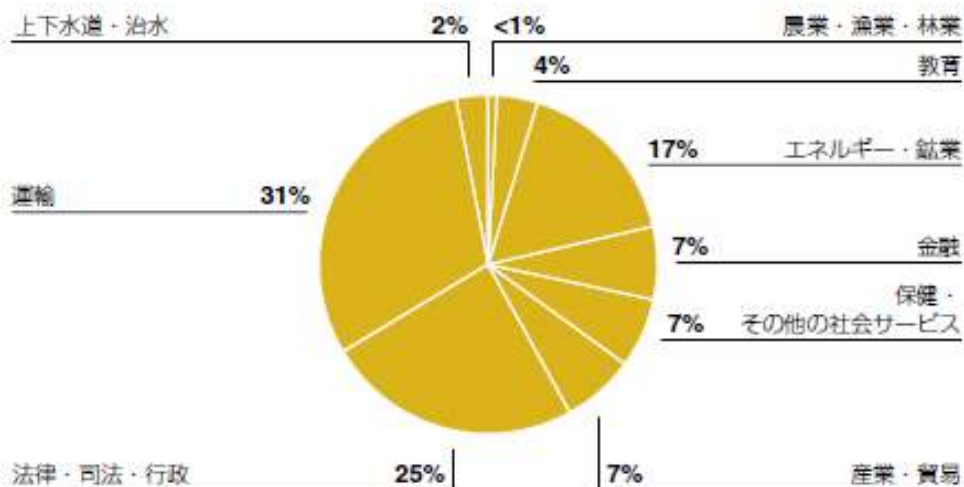
### ヨーロッパ・中央アジア地域

IBRDとIDAのテーマ別融資 | 2009年度  
総融資額94億ドルに占める割合



### ヨーロッパ・中央アジア地域

IBRDとIDAのセクター別融資 | 2009年度  
総融資額94億ドルに占める割合



出典：世界銀行「2009年度年次報告書」

# 国際連合と専門機関の統計

## ラテンアメリカ・カリブ海地域の概要

総人口:	6億人
人口増加率:	1.1%
平均寿命:	73歳
乳幼児死亡率(出生1000件当たり):	22件
若い女性の識字率:	97%
HIV感染者・エイズ患者数:	190万人
2008年の一人当たり国民総所得(GNI):	6,780ドル
一人当たりGDP指数(1998=100)	121

注: 平均寿命、乳幼児死亡率(出生1000件当たり)、若い女性の識字率、HIV感染者・エイズ患者数は2007年、その他の指標は2008年の「世界開発指標」データベース、HIV感染者・エイズのデータは国連・世界保健機関「2008年エイズ流行に関する報告書」の数字です。

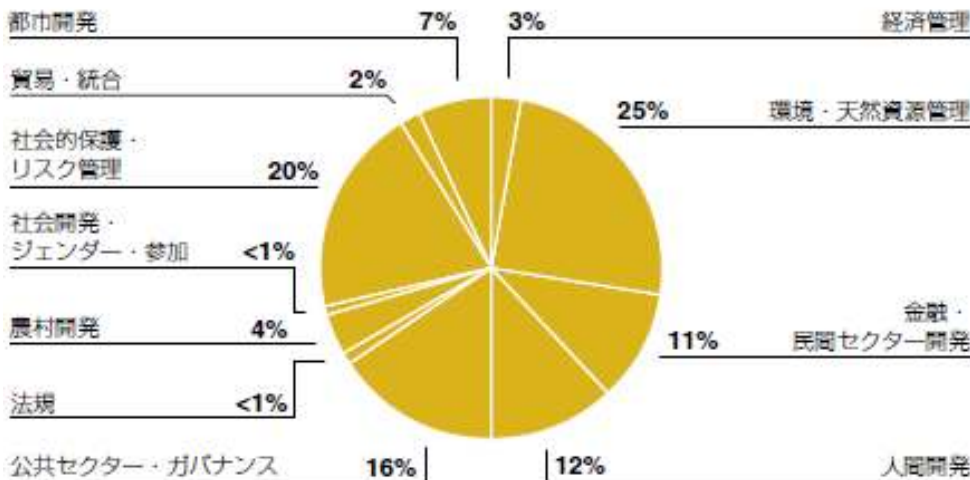
2009年度の 新規融資承認額	2009年度の 融資実行額
IBRD: 138億2900万ドル	IBRD: 78億6400万ドル
IDA: 2億200万ドル	IDA: 1億8000万ドル

2009年6月30日現在において実施中のプロジェクトのポートフォリオ: 260億ドル

図2.9

### ラテンアメリカ・カリブ海地域

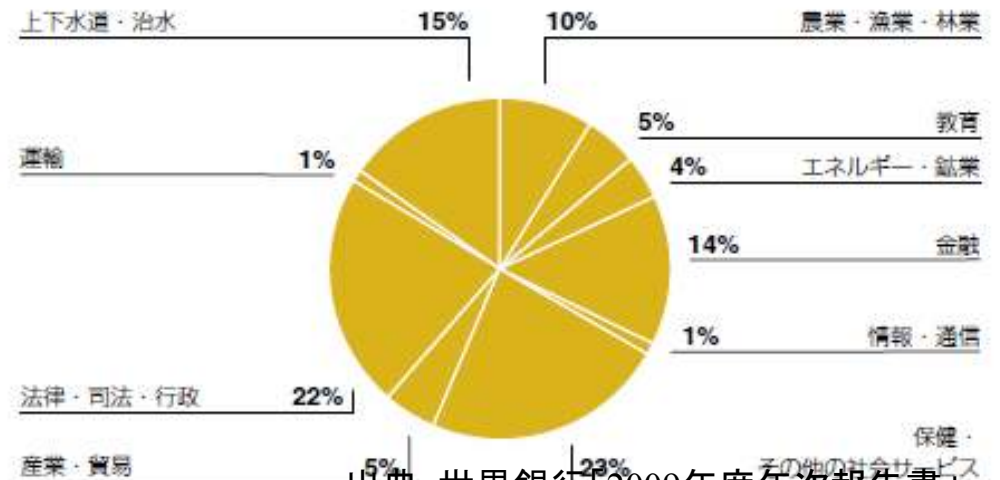
IBRDとIDAのテーマ別融資 | 2009年度  
総融資額140億ドルに占める割合



2010年1月18日

### ラテンアメリカ・カリブ海地域

IBRDとIDAのセクター別融資 | 2009年度  
総融資額140億ドルに占める割合



出典: 世界銀行「2009年度年次報告書」

経済統計b: 第12回

44

# 国際連合と専門機関の統計

## 中東・北アフリカ地域の概要

総人口:	3億人
人口増加率:	1.8%
平均寿命:	70歳
乳幼児死亡率(出生1000件当たり):	32件
若い女性の識字率:	86%
HIV感染者・エイズ患者数:	21万人
2008年の一人当たり国民総所得(GNI):	3,242ドル
一人当たりGDP指数(1998=100)	128

2009年度の 新規融資承認額	2009年度の 融資実行額
IBRD: 15億5100万ドル	IBRD: 12億1600万ドル
IDA: 1億7200万ドル	IDA: 1億8300万ドル

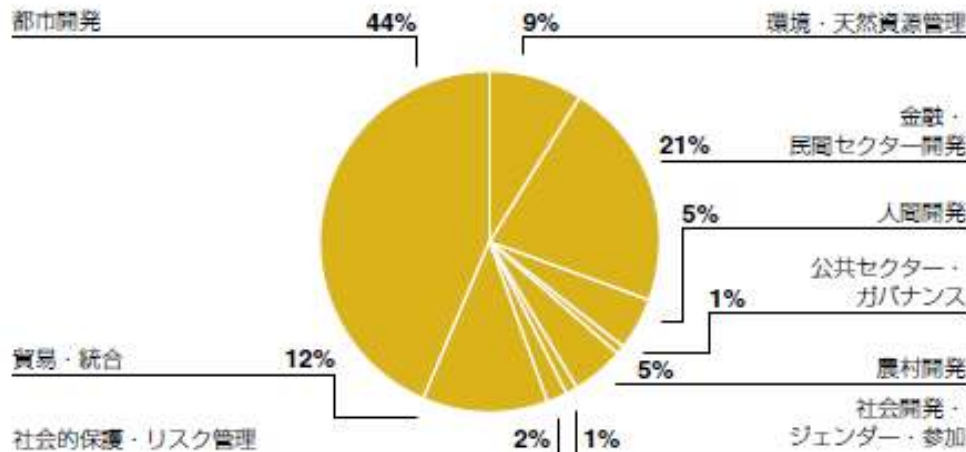
2009年6月30日現在において実施中のプロジェクトのポートフォリオ: 70億ドル

注: 平均寿命、乳幼児死亡率(出生1000件当たり)、若い女性の識字率、HIV感染者・エイズ患者数は2007年、その他の指標は2008年の「世界開発指標」データベース、HIV感染者・エイズのデータは国連・世界保健機関「2008年エイズ流行に関する報告書」の数字です。

図2.11

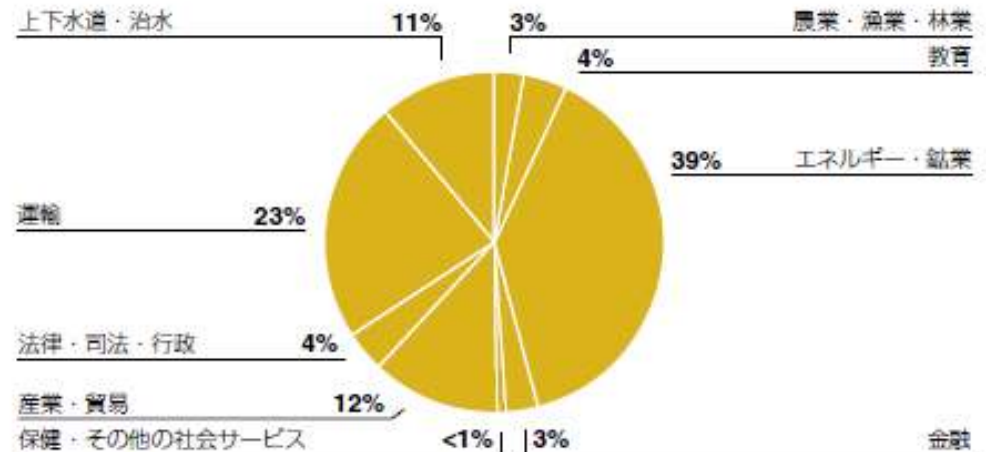
### 中東・北アフリカ地域

IBRDとIDAのテーマ別融資 | 2009年度  
総融資額17億ドルに占める割合



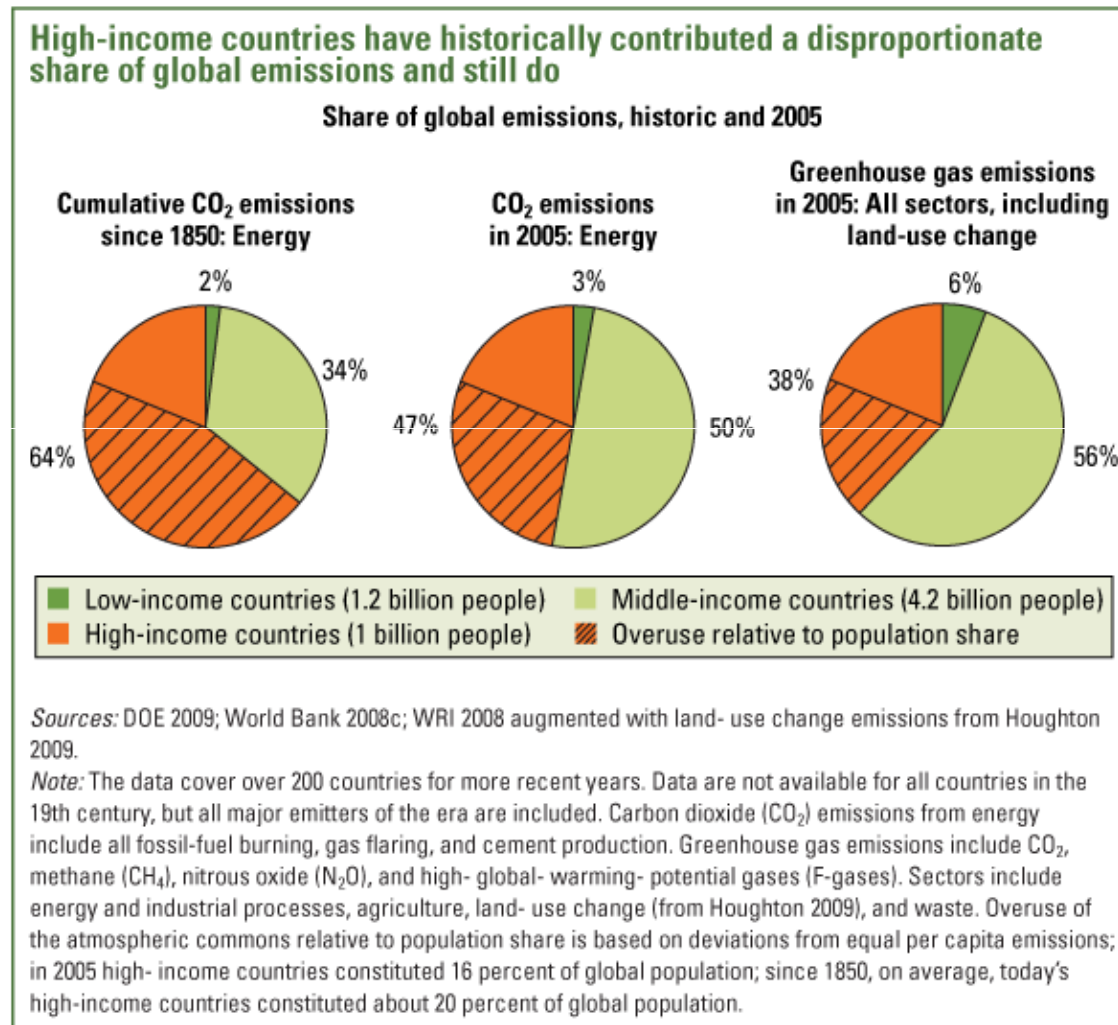
### 中東・北アフリカ地域

IBRDとIDAのセクター別融資 | 2009年度  
総融資額17億ドルに占める割合



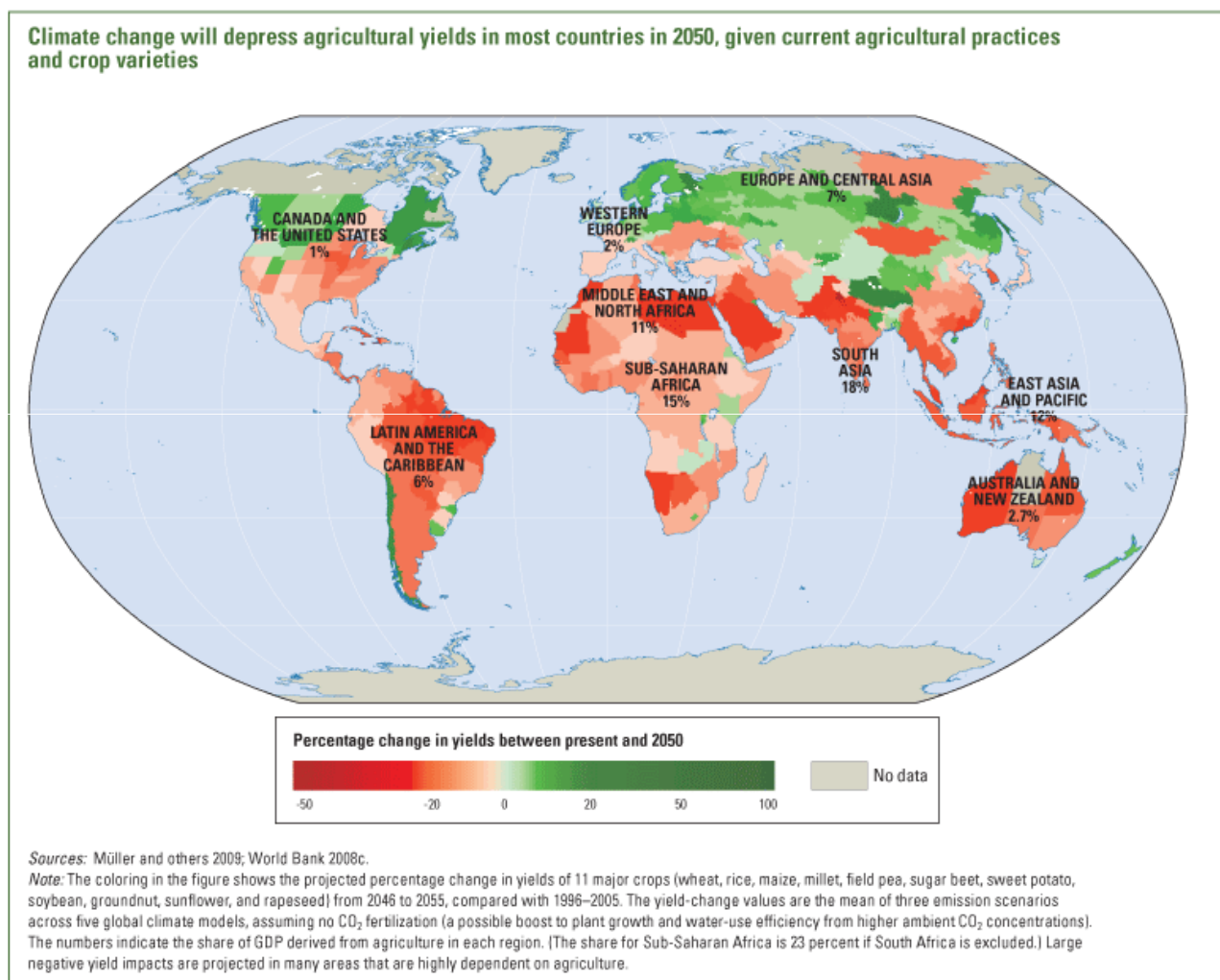
出典: 世界銀行「2009年度年次報告書」

# 国際連合と専門機関の統計

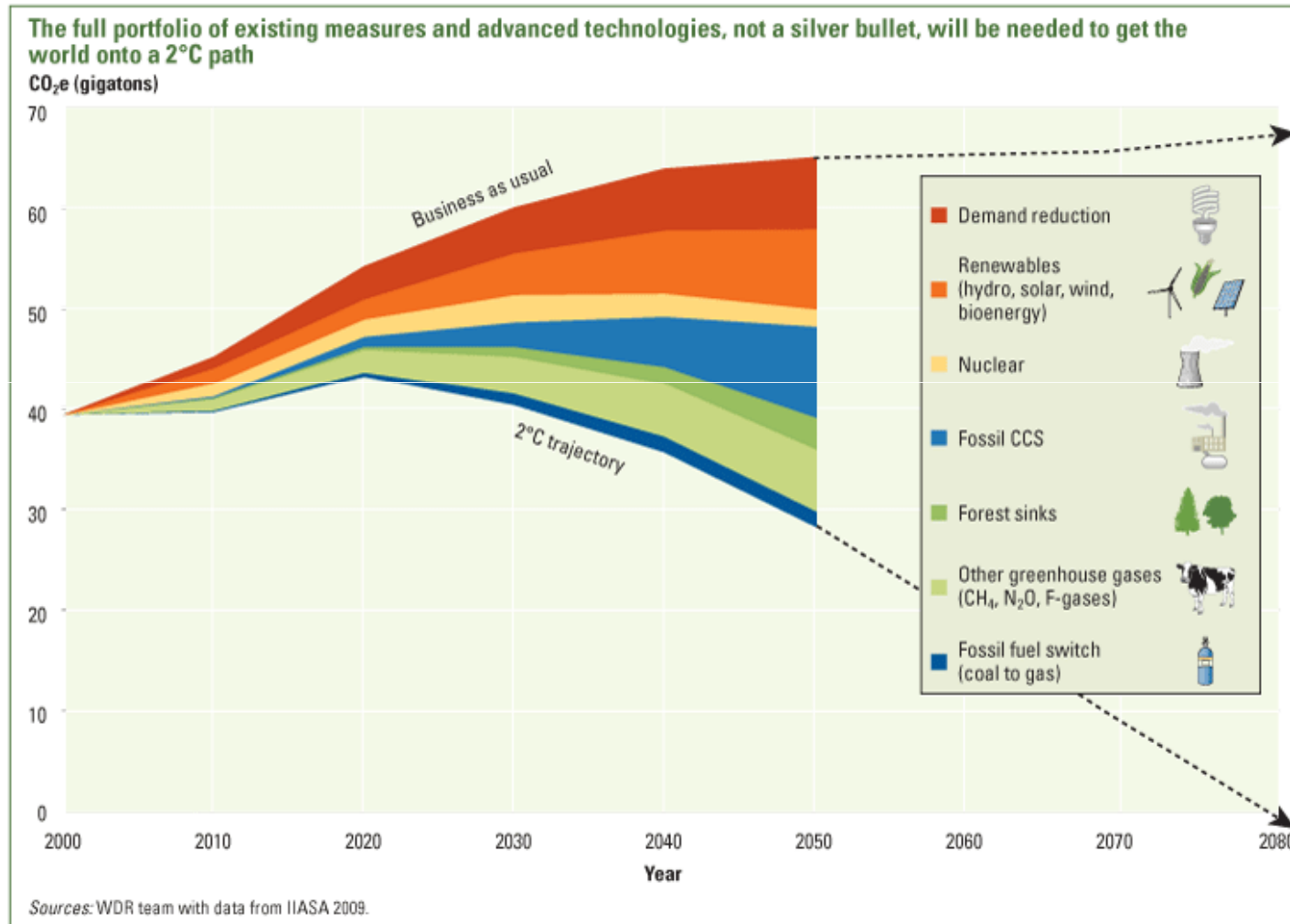


出典：World Bank “World Development Report 2010: Development and Climate Change”

# 国際連合と専門機関の統計



# 国際連合と専門機関の統計

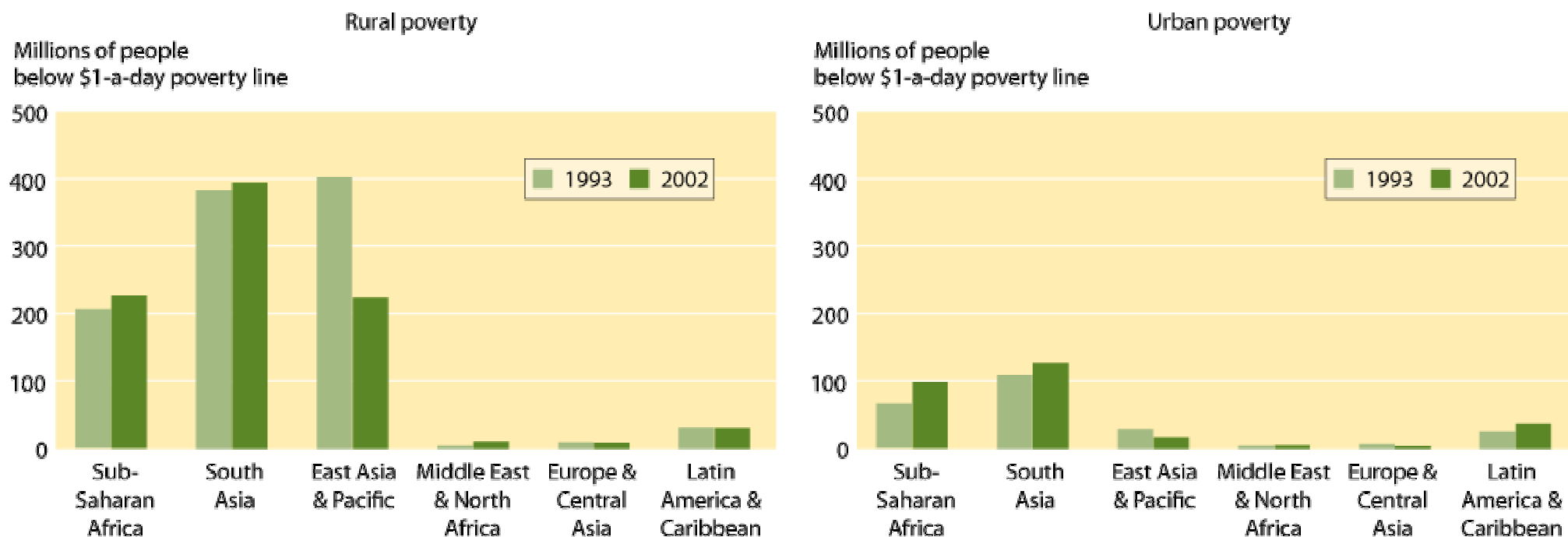


出典：World Bank “World Development Report 2010: Development and Climate Change”  
 経済統計b：第12回



# 国際連合と専門機関の統計

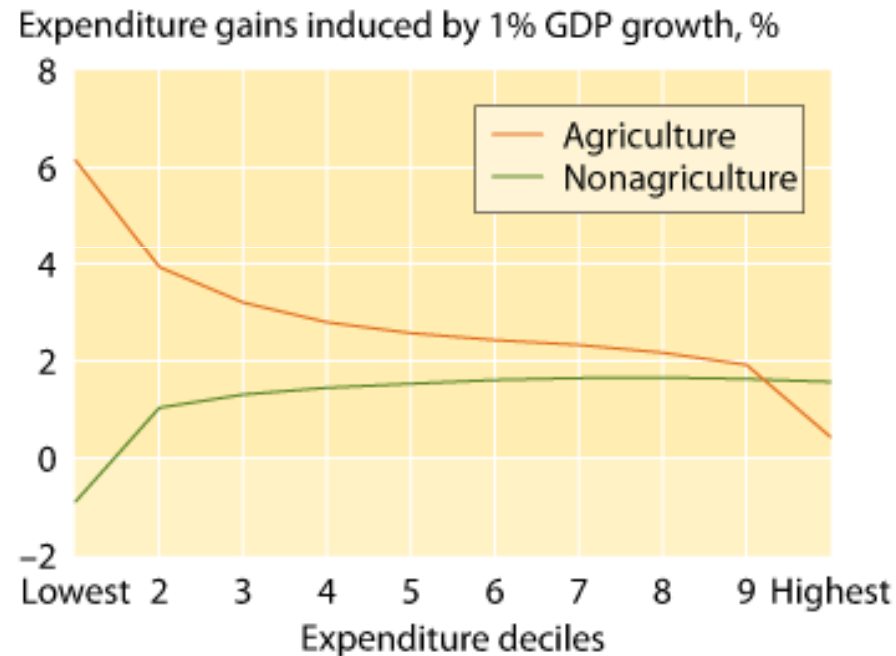
The number of poor rose in South Asia and Sub-Saharan Africa from 1993 to 2002  
(\$1-a-day poverty line)



Source: Ravallion, Chen, and Sangraula 2007.

# 国際連合と専門機関の統計

GDP growth originating in agriculture benefits the poorest half of the population substantially more



Source: Ligon and Sadoulet 2007.

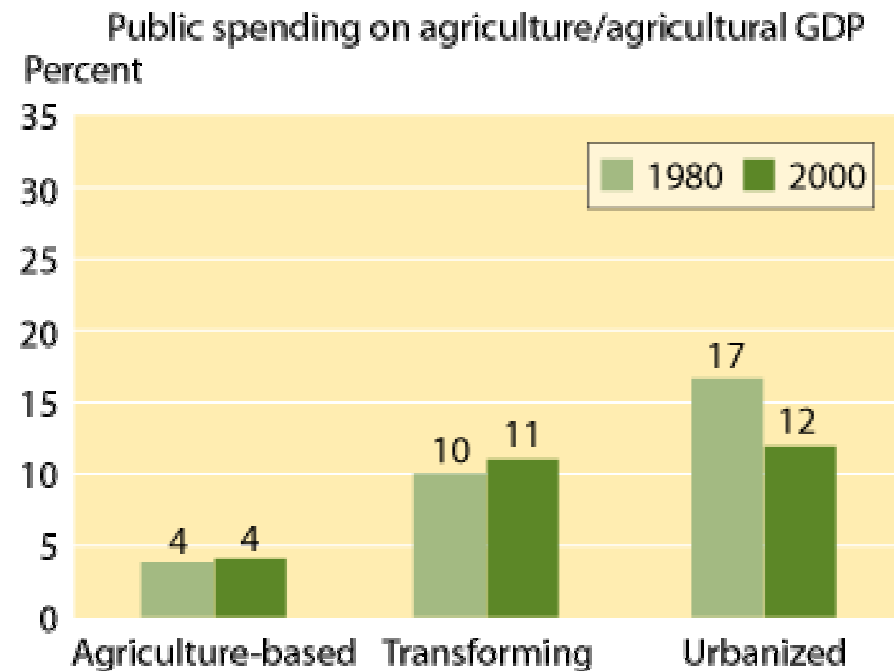
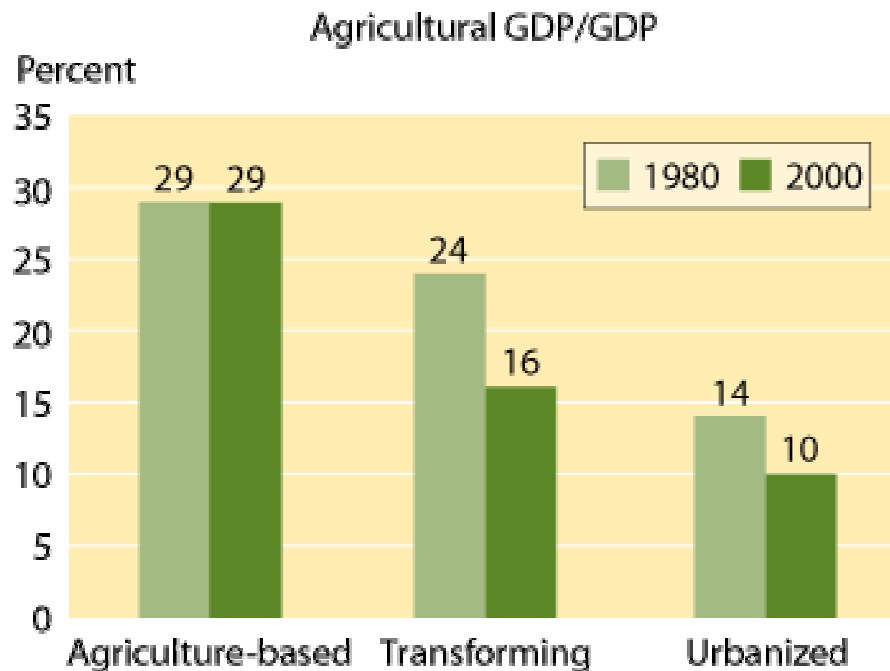
Note: Based on data from 42 countries during the period 1981–2003.

Gains are significantly different for the lower half of expenditure deciles.

出典: World Bank “World Development Report 2008: Agriculture for Development

# 国際連合と専門機関の統計

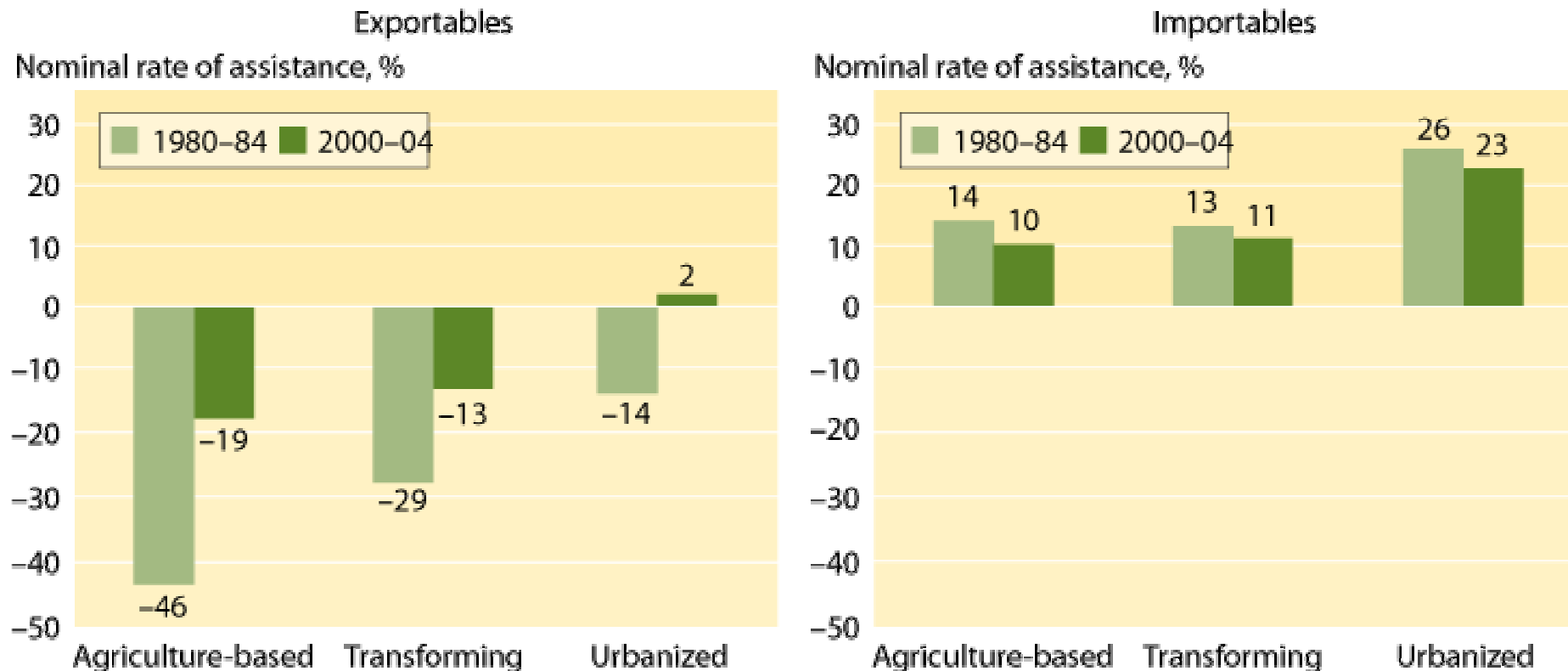
Public spending on agriculture is lowest in the agriculture-based countries, while their share of agriculture in GDP is highest



Source: Fan, forthcoming.

# 国際連合と専門機関の統計

## Developing countries are taxing agricultural exportables less



Source: Anderson, forthcoming.

Note: The nominal rate of assistance is a measure of domestic output prices relative to border prices, which also takes into account domestic input subsidies.

出典: World Bank "World Development Report 2008: Agriculture for Development

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際通貨基金(IMF)
  - 1930年代の通貨切り下げが世界経済の縮小をもたらした事を反省し、固定相場制度を実現するための機関として成立
    - 1971年に米国政府が米ドルと金の交換を停止したため、固定相場制度から変動相場制度へと移行
    - 現在は国際通貨システム(為替レートと国際的な決済の仕組み)の安定を目標とする
  - IMFの業務
    - 世界、地域および各国の経済と金融の情勢をモニターし、加盟国に経済政策に関する助言を行う
    - 外貨を融資し、国際収支の改善に向けた経済政策を支援
    - 専門的な技術支援や、政府や中央銀行職員を対象とした研修を行う
    - IMFの融資は対外的な支払や適切な外貨準備の水準を維持するための資金であり、インフラ構築、輸出やその他の部門の多様化や教育・医療制度を充実させるための融資は行わない(行えない)

# 国際連合と専門機関の統計

- IMFの人事
  - IMFの代表である専務理事は欧州から選出されることが慣例となっている
    - 現専務理事はフランス出身のドミニク・ストロス・カーン
    - 理事会は24名によって構成され、アメリカ、イギリス、日本、ドイツ、フランスから2名の代表、並びに各国の信任によって選ばれる専任理事からなる

# 国際連合と専門機関の統計

- IMFの統計
  - 各国の報告をもとにした、金融・貿易等に関わる多数のデータを公表
  - World Economic Outlook
    - IMFが4版期毎に公表する経済見通し
  - Global Financial Stability Report
    - IMFの4版期毎に公表する国際金融市場に関するレポート
  - World Economic Outlook Databases (WEO)
    - GDP成長率、失業、インフレ、対外バランス、輸出入、対外債務、資本フロー、物価等の統計
  - その他多数のデータを公表
    - 詳細は、<http://www.imf.org/external/data.htm#data>参照

# 国際連合と専門機関の統計

表4.2 IMF技術支援の財源と提供（2005～2007年度）

(単位：実働人年)<sup>1</sup>

	2005年度	2006年度	2007年度
IMF運営予算	283.4	337.6	325.1
外部資金	97.1	87.3	113.3
資金合計	380.6	424.9	438.4
地域レベルでの実施	301.4	288.4	308.3
アフリカ	86.9	82.4	90.4
アジア太平洋	68.2	58.5	62.7
欧州	34.5	37.1	34.6
中東中央アジア	45.1	61.0	54.2
西半球	32.7	37.5	48.2
地域および複数地域間	33.9	11.9	18.2
管理運営 <sup>2</sup>	79.2	136.5	130.1
合計	380.6	424.9	438.4
担当部局別	380.6	424.9	438.4
財政局	99.5	100.2	116.9
金融資本市場局	127.0	125.7	117.0
統計局	53.1	54.3	56.3
IMF研修所	57.0	76.4	78.4
法律局	23.5	20.0	26.0
その他の部局 <sup>3</sup>	20.4	48.3	43.8

出所：IMF技術支援管理室

1. 技術支援の1年間の実働日数は260日として計算。

2. 技術支援の方針、管理、評価、その他の関連活動などの間接的技術支援。

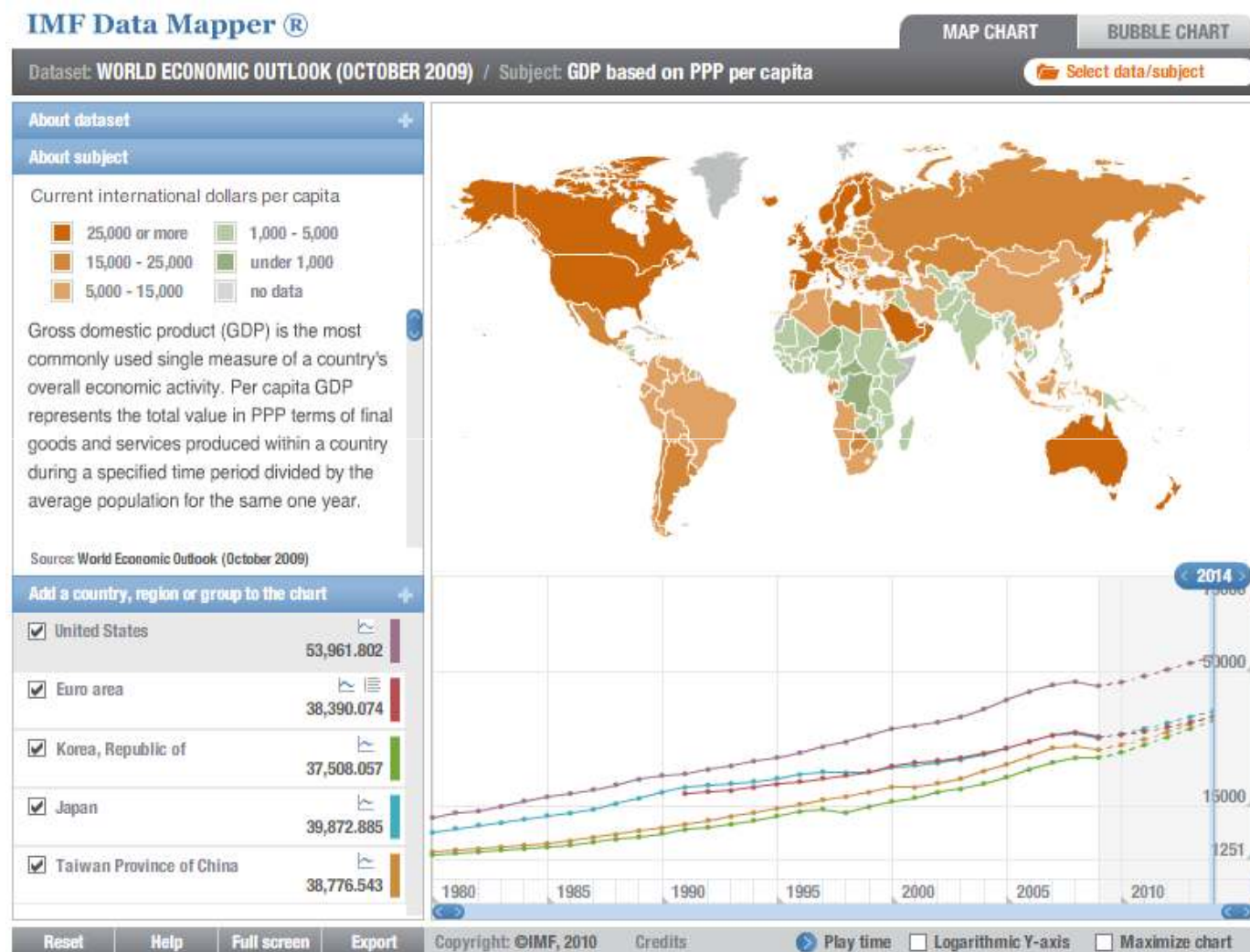
3. 政策企画審査局（PDR）、技術サービス局（TGS）、技術支援管理室（OTM）、財政局（FIN）、人事局（HRD）、ならびに、すべての地域局を含む。



# 国際連合と専門機関の統計

- World Economic Outlook
  - 先進国
    - 2010年後半まで失業率の上昇が見込まれる
    - 2010年の大半を通じて低成長が予想される
    - GDPは2009年の3.5%のマイナス成長から2010年には約1.25%のプラス成長になる
  - 新興国
    - 実質GDP成長率は2009年の1.75%から2010年には約5%に上昇
    - 回復の主役は中国、インドを中心とするアジアの新興国
    - 他地域の新興国は、景気刺激策ならびに世界貿易と金融情勢の改善により小幅ながら回復に向かっている

# 国際連合と専門機関の統計



出典: IMF Data Mapper <http://www.imf.org/external/datamapper/index.php>

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際電気通信連合 (ITU)

- ITUの経緯

- 1865年にパリで世界初の国際機関(とされる)万国電信連合が発足
    - 1932年に国際無線電信連合と合併し、国際電気通信連合(ITU)が発足
    - 現在は国際連合の専門機関の一つとなっている

- ITUの目的

- 電気通信の改善と合理的利用のため国際協力
    - 電気通信業務の能率増進、利用増大と普及のため、技術的手段の発達と能率的運用の促進
    - 加盟国数191か国、本部はスイスのジュネーブ

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際電気通信連合 (ITU)

- ITUの組織と人事

- 電気通信標準化部門 (ITU-T)、無線通信部門 (ITU-R)、電気通信開発部門 (ITU-D) と事務総局によって構成される
    - 事務局長は各国から選ばれる
      - 現事務局長はマリ出身のハマドゥン・トゥーレ氏
      - 1999-2006年まで、日本の総務省出身の内海善雄氏が事務総局長を勤め、第三世代携帯電話の標準化等に貢献したとされる

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際電気通信連合 (ITU)
  - ITUの統計
    - World Telecommunication/ICT Indicators Database
      - 電話、携帯電話、インターネット、パソコンなど、電気通信サービス・機器の普及状況、事業者数、売り上げ等を収録
    - その他競争の程度や(経済的・技術的な)規制、独立規制当局の有無などのレポートを公表

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際電気通信連合 (ITU)

	main line	mobile	Internet	Broadband		main line	mobile	Internet	Broadband
Montserrat	47.42	50.80	20.32	125.05	Canada	54.87	66.42	75.43	29.59
Barbados	58.78	159.09	73.67	64.81	Falkland (Malvinas) Is.	66.27	99.30	92.96	29.48
Liechtenstein	55.01	95.43	65.96	55.01	France	56.42	93.45	68.21	28.52
Bermuda	89.00	122.07	78.80	52.47	United Kingdom	54.24	126.34	76.24	28.21
Monaco	106.98	67.25	67.25	41.88	Hong Kong, China	58.72	165.85	67.00	28.11
Sweden	57.83	118.33	87.84	41.19	Belgium	42.08	111.63	68.86	27.97
Denmark	45.64	125.72	83.89	37.12	Germany	62.48	128.27	75.33	27.47
Netherlands	44.27	124.80	86.55	35.14	Malta	59.18	94.64	48.79	24.77
Switzerland	64.11	117.97	77.00	34.15	Andorra	44.28	76.06	70.04	24.49
Norway	39.78	110.16	82.55	33.27	Australia	44.46	104.96	71.98	24.39
Iceland	61.34	108.64	90.56	32.87	Israel	45.72	127.38	49.64	23.88
Korea (Rep.)	44.29	94.71	76.50	32.14	Estonia	37.14	188.20	66.21	23.70
Finland	31.11	128.76	82.62	30.50	Japan	38.04	86.73	75.40	23.65
Faroe Islands	43.97	110.55	75.57	29.98	United States	49.62	86.79	74.00	23.46
Luxembourg	54.22	147.11	80.53	29.80	Macao, China	33.43	177.24	49.22	23.07

出典: ITU “ICT eye’s” <http://www.itu.int/ITU-D/icteye/Indicators/Indicators.aspx>

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際連合食糧農業機関(FAO)
  - 1945年に発足
    - 人々が健全で活発な生活をおくるために十分な量・質の食料への定期的アクセスを確保し、すべての人々の食料安全保障を達成する。
      - 世界の人々の栄養と生活水準の向上
      - 農業生産性の向上
      - 農村に生活する人々の生活条件の改善
      - 世界経済成長への寄与

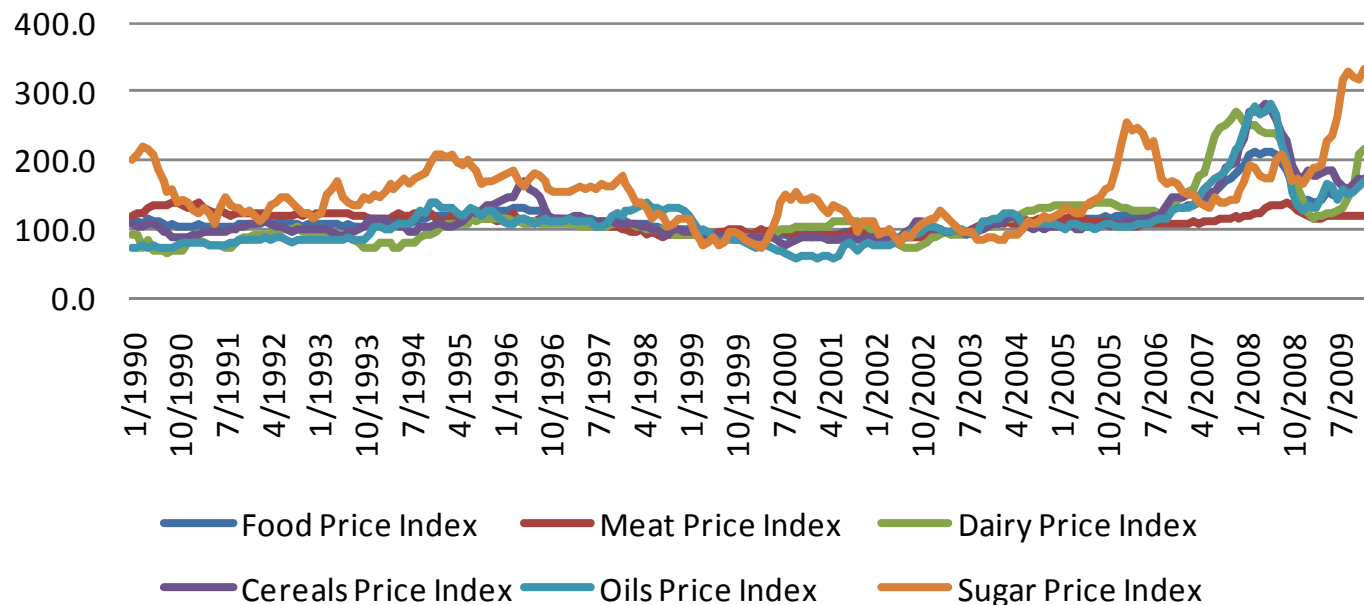
# 国際連合と専門機関の統計

- 国際連合食糧農業機関(FAO)

  - FAOの統計

    - 食料生産・価格等についての様々なデータを公表

## 食料価格の推移



出典: FAO “FAOSTAT” <http://faostat.fao.org/site/291/default.aspx>  
経済統計b: 第12回



# 国際連合と専門機関の統計

- 国際労働機関(ILO)
  - 1919年に労働条件の改善を通じて社会正義の確立と恒久平和の実現を目的として創設
    - 1946年に国連の専門機関となる
    - 労働条件に関する各種条約を立案している
      - 第29号 強制労働条約(1930年)
      - 第87号 結社の自由及び団結権保護条約(1948年)
      - 第98号 団結権及び団体交渉権条約(1949年)
      - 第100号 同一報酬条約(1951年)
      - 第105号 強制労働廃止条約(1957年)
      - 第111号 差別待遇(雇用及び職業)条約(1958年)
      - 第138号 最低年齢条約(1973年)
      - 第182号 最悪の形態の児童労働条約(1999年) . . . 等

# 国際連合と専門機関の統計

- 国際労働機関(ILO)

- ILOの統計

- 労働力・労働時間・失業・賃金・児童労働など様々な統計を公表している

- LABORSTA - database of labour statistics

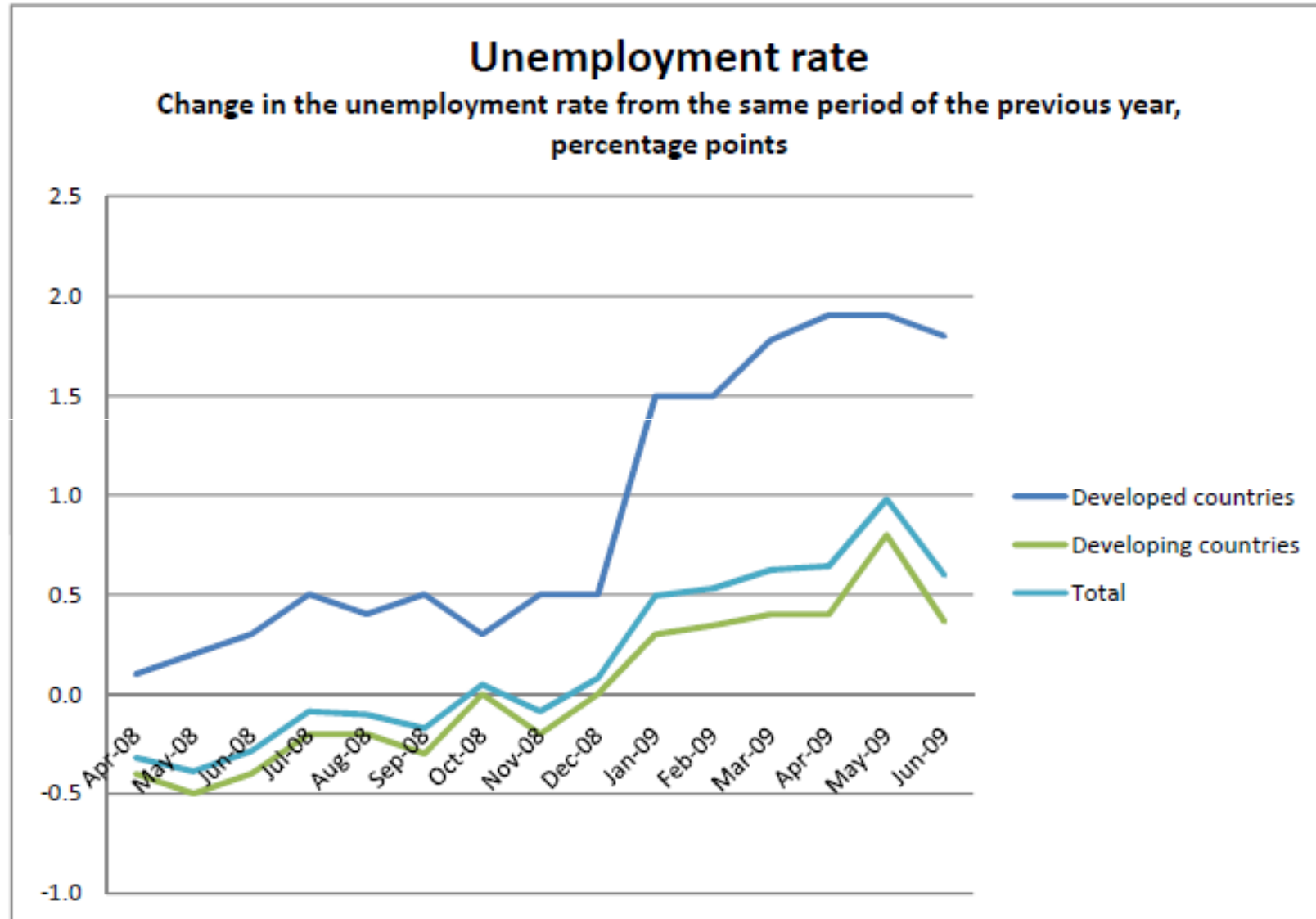
- Key Indicators of the Labour Market (KILM)

- Labour Force Surveys

- Statistical Information and Monitoring Programme on Child Labour (IPEC-SIMPOC)

- ... etc

# 国際連合と専門機関の統計



出典: ILO "Global Trends: Changes in unemployment" <http://www.ilo.org/pls/apex/f?p=109:1:0>

# 国際連合と専門機関の統計

Country	Unemployment rate (%)	rank	Country	Unemployment rate (%)	rank	Country	Unemployment rate (%)	rank
Australia	4.225	17	Indonesia	8.425	51	Portugal	7.593024	45
Austria	3.816848	11	Ireland	5.982103	28	Puerto Rico	11.55	58
Belgium	6.975917	37	Israel	6.23	31	Republic of Moldova	4	14
Brazil	7.8875	50	Italy	6.74155	35	Romania	5.775	25
Bulgaria	5.65	24	Jamaica	10.575	56	Singapore	3.225	7
Canada	6.125	30	Japan	3.980833	12	Slovakia	9.507697	54
Chile	7.81088	48	Jordan	12.65	60	Slovenia	4.4	19
Colombia	11.65044	59	Korea, Republic of	3.175	6	South Africa	22.925	61
Cyprus	3.65	10	Latvia	7.475	43	Spain	11.33831	57
Czech Republic	4.391951	18	Lithuania	5.841541	27	Sri Lanka	5.2	21
Denmark	3.320008	8	Luxembourg	5.068043	20	Sweden	6.234689	32
Ecuador	6.905	36	Macau, China	2.925	4	Taiwan, China	4.1425	16
Egypt	8.71	52	Malta	6.037515	29	Thailand	1.3875	1
Estonia	5.4942	22	Mauritius	7.25	39	The former Yugoslav Republic of Macedonia	33.775	63
Finland	6.367	33	Mexico	3.987197	13	Turkey	9.378336	53
France	7.361821	41	Morocco	9.64	55	Ukraine	6.425	34
Germany	7.475327	44	Netherlands	2.750206	3	United Kingdom	5.632463	23
Greece	7.653982	47	New Zealand	4.05	15	United States	5.775	26
Hong Kong, China	3.516667	9	Norway	2.550882	2	Uruguay	7.594048	46
Hungary	7.819703	49	Philippines	7.4	42	Venezuela, Bolivarian Republic of	7.358333	40
Iceland	2.975	5	Poland	7.117327	38	West Bank and Gaza Strip	25.95	62

出典: ILO "Key Indicators of the Labour Market (KILM)" <http://kilm.ilo.org/KILMnetBeta/default2.asp>

# 国際連合と専門機関の統計

- 世界保健機関(WHO)
  - 1948年設立
    - 「すべての人々が可能な最高の健康水準に到達すること」(憲章第1条)を目的として設立
    - 活動
      - (1) 医学情報の総合調整
      - (2) 国際保健事業の指導的且つ調整的機関としての活動
      - (3) 保健事業の強化についての世界各国への技術的協力
      - (4) 感染症及び他の疾病の撲滅事業の奨励・促進
      - (5) 保健分野の研究の促進・指導
      - (6) 生物学的製剤及び類似の製品、食品に関する国際的基準の発展・向上
    - 統計: 出世・死亡・疾患・期待余命等様々な健康に関わる統計を公表

# 国際連合と専門機関の統計

## 3. Selected infectious diseases

Member State	Number of reported cases							
		Cholera *	Diphtheria *	H5N1 influenza **	Japanese encephalitis *	Leprosy *	Malaria †	Measles †
		2007		2008		2007	2007	2007
<b>RANGES OF COUNTRY VALUES</b>								
Minimum		1	0	0	0	0	0	0
Maximum		41 643	3 354	22	4 330	137 685	6 327 916	109 023
Median		179	0	0	0	66	15 712	7
<b>WHO REGION</b>								
African Region		110 837	...	...	...	31 037	...	76 408
Region of the Americas		...	103	...	...	2 854	...	163
South-East Asia Region		4 327	3 675	...	4 772	169 528	1 477 412	69 301
European Region		...	228	...	...	...	...	6 949
Eastern Mediterranean Region		...	170	...	...	4 089	3 624 395	15 570
Western Pacific Region		2 286	80	9	4 715	5 865	...	112 280
<b>INCOME GROUP</b>								
Low income		128 450	410	...	...	44 994	...	92 211
Lower middle income		49 281	3 728	...	8 435	166 395	...	177 525
Upper middle income		...	121	...	...	1 860	...	1 689
High income		54	14	...	...	...	...	9 345
Global		177 963	4 273	...	9 487	213 373	...	280 771

出典: WHO "World Health Statistics 2009" <http://www.who.int/whosis/whostat/en/infection>  
 2010年1月18日 経済統計b: 第12回

# 今週の内容

- 国際機関の統計
  - 国際連合と専門機関の統計
  - OECDの統計
  - その他の国際的な統計

# OECDの統計

- OECDとは
  - 欧州・米国や民主主義と市場経済を支持する諸国が以下の目的のために活動を行っている機関
    - 持続可能な経済成長の支持
    - 雇用の増大
    - 生活水準の向上
    - 金融安定化の維持
    - 他国の経済発展の支援
    - 世界貿易の成長への貢献
  - 設立の経緯
    - 第二次世界大戦後の米国による欧州経済の再建を目的とした援助プログラム「マーシャル・プラン」の受け皿として欧州諸国が1948年に欧州経済協力機構を設立
    - その後、当初目的が達成されたため、先進諸国の経済協力機構に組み替えられ、1960年にOECD発足
    - 日本は1964年に加入、現在は30カ国が加盟



# OECDの統計

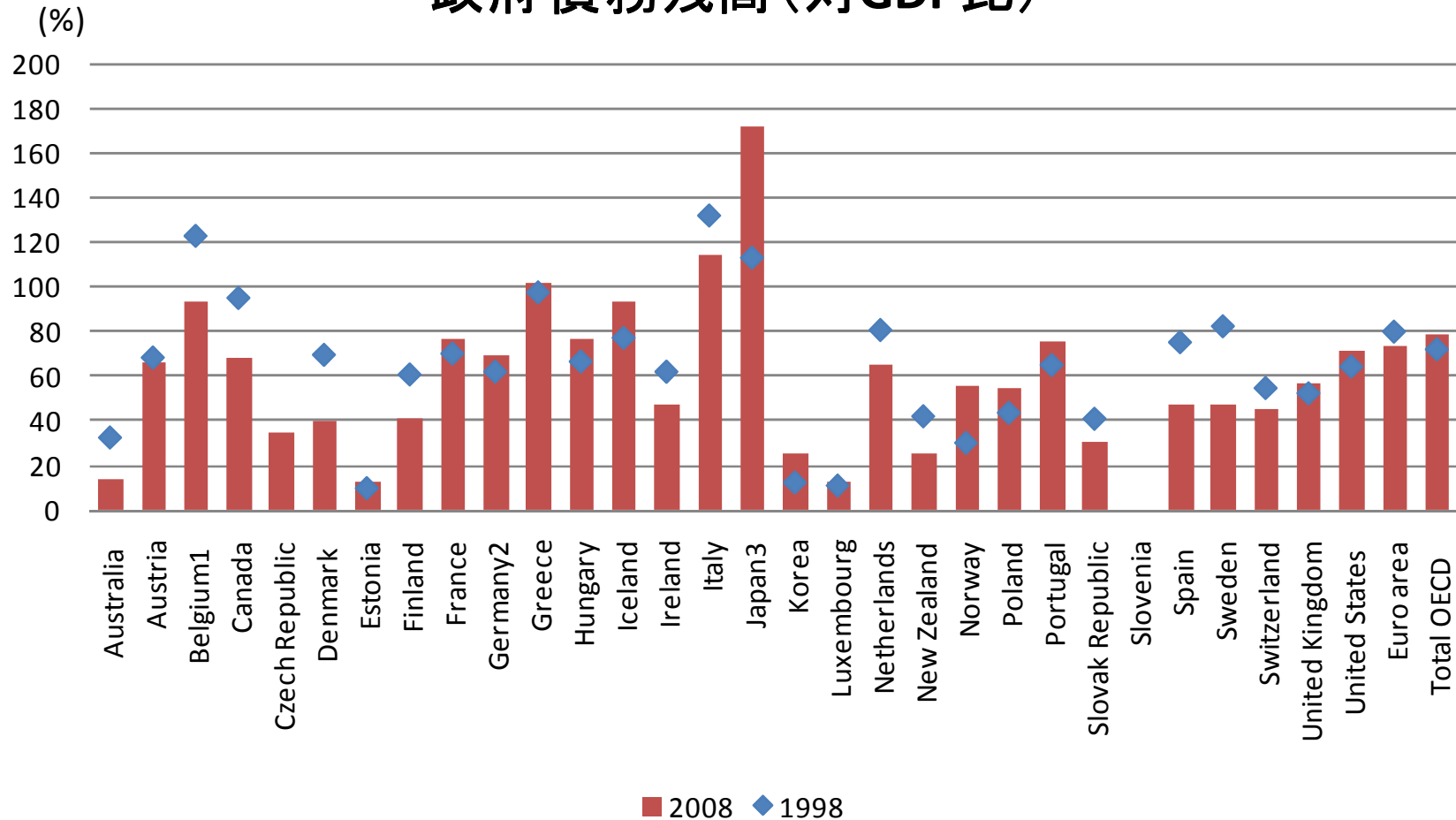
- OECDの特徴
  - 1. 市場経済を原則とする先進諸国の集まりであること。
    - OECD加盟国は世界人口の18%、国民総所得の58%、貿易額では75%、海外援助額では96%を占めている
  - 2. 政治、軍事を除き、経済・社会のあらゆる分野の様々な問題を取り上げ、研究・分析し、政策提言を行っている国際機関である
  - 3. 「クラブ的性格」と称されるもので、多様な問題に関して政策協調を図るための協議の場を提供している
- 意思決定方式
  - 多数決でなく全会一致
  - 棄権した加盟国には、その事項は適用されない
  - OECDの会議は、必ずしも一定の結論を得ることを目的としておらず、討議の過程で各国の考えや主張が明らかになることで、加盟国の政策に影響を与え合うことが期待されている
  - OECDで行われる様々な会議は、理事会の合意がない限り全て秘密会とされている

# OECDの統計

- OECDの統計
  - 各種分析に必要となるデータを、加盟国の統計局より収集している
  - GDP: (Source: National Accounts of OECD countries, Volume I)
  - エコノミック・アウトルック統計データ (Source: Economic Outlook)
  - 経済・環境・社会統計-OECD Factbook2009 (Source: OECD Factbook)
  - 社会指標 (Source: Society at a Glance)
  - 失業率 (Source: Main Economic Indicators)
  - 開発援助統計 (Source: Development Cooperation Report)
  - 雇用統計 (Source: Employment Outlook)
  - 教育統計 (Source: Education at a Glance)
  - 環境統計 (Source: Environmental Data Compendium)
  - 保健医療統計 (Source: Health Data)
  - エネルギー統計 (Source: IEA Energy Statistics and Energy Balances)
  - 科学技術産業統計 (Source: Science, Technology and Industry Scoreboard)
  - 情報経済統計 (Source: OECD)
  - 情報通信技術 (ICT)統計 (Source: OECD)
  - ブロードバンド統計 (Source: OECD Broadband Statistics)
  - 景気先行指数 (Source: Main Economic Indicators)
  - 移民統計 (Source: International Migration Outlook)
  - 貧困、格差統計: Source: Growing Unequal? (Source: Growing Unequal?)
    - <http://www.oecdtohyo.org/pub/statistics.html>

# OECDの統計

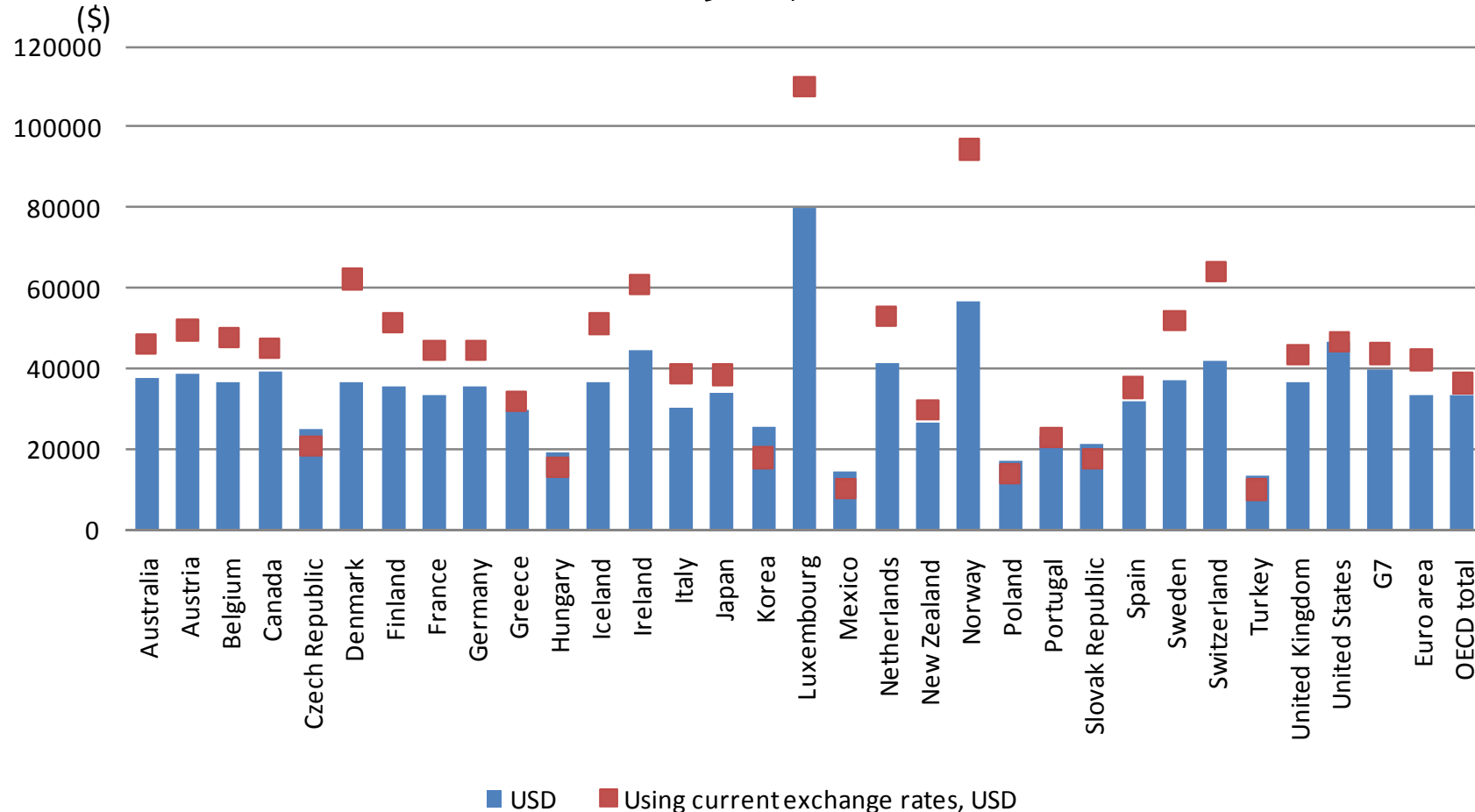
## 政府債務残高(対GDP比)



日本は172.1%でOECD30カ国中最高。第2位のイタリアは114.5%。

# OECDの統計

## 一人あたりGDP



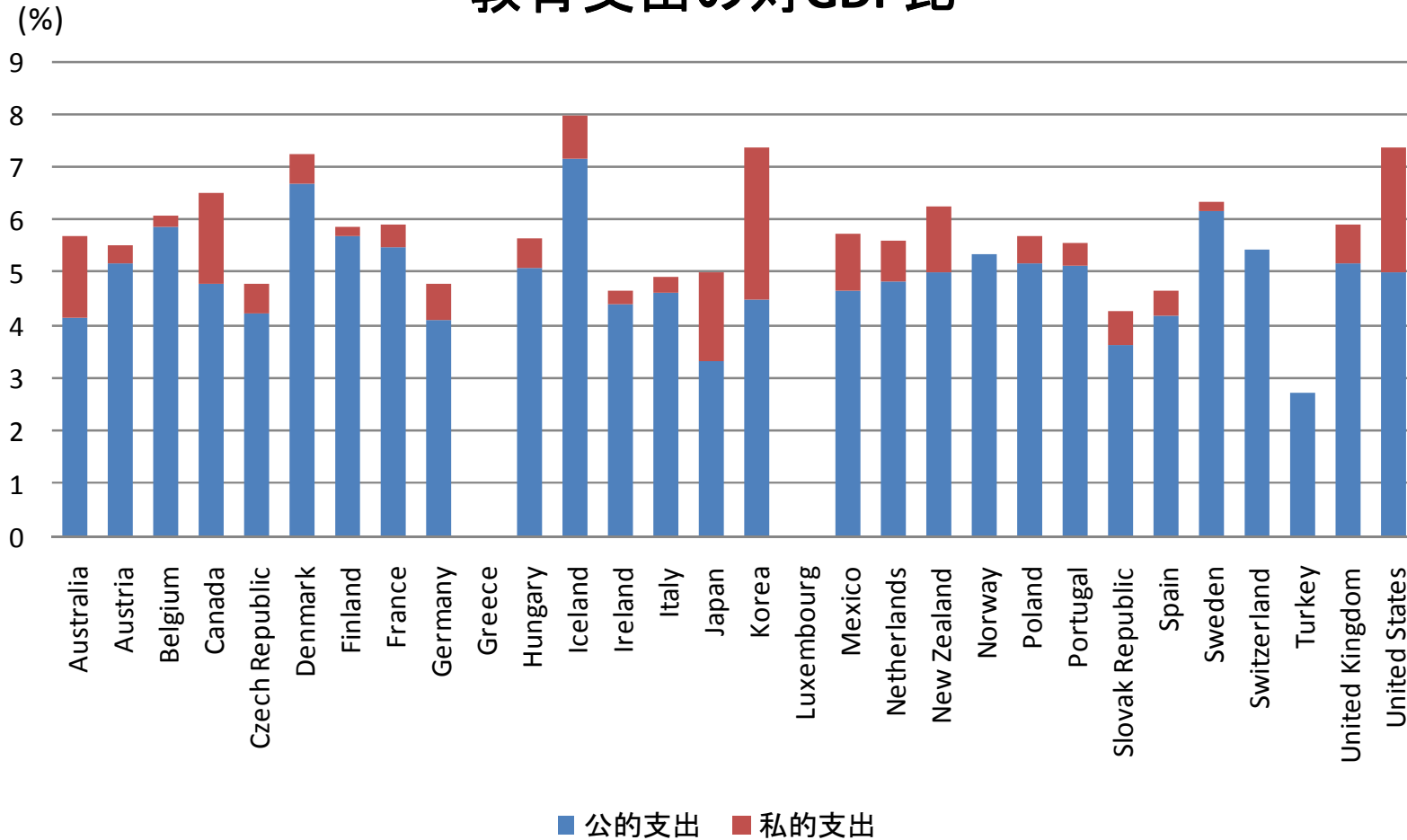
日本は34,100ドルでOECD30カ国中17位。

第1位はルクセンブルグ(79,800ドル)、OECD平均は33,400ドル。

出典: OECD National Accounts 2009

# OECDの統計

## 教育支出の対GDP比



日本は3.3%でOECD加盟28カ国中最も低い。OECD平均は4.9%

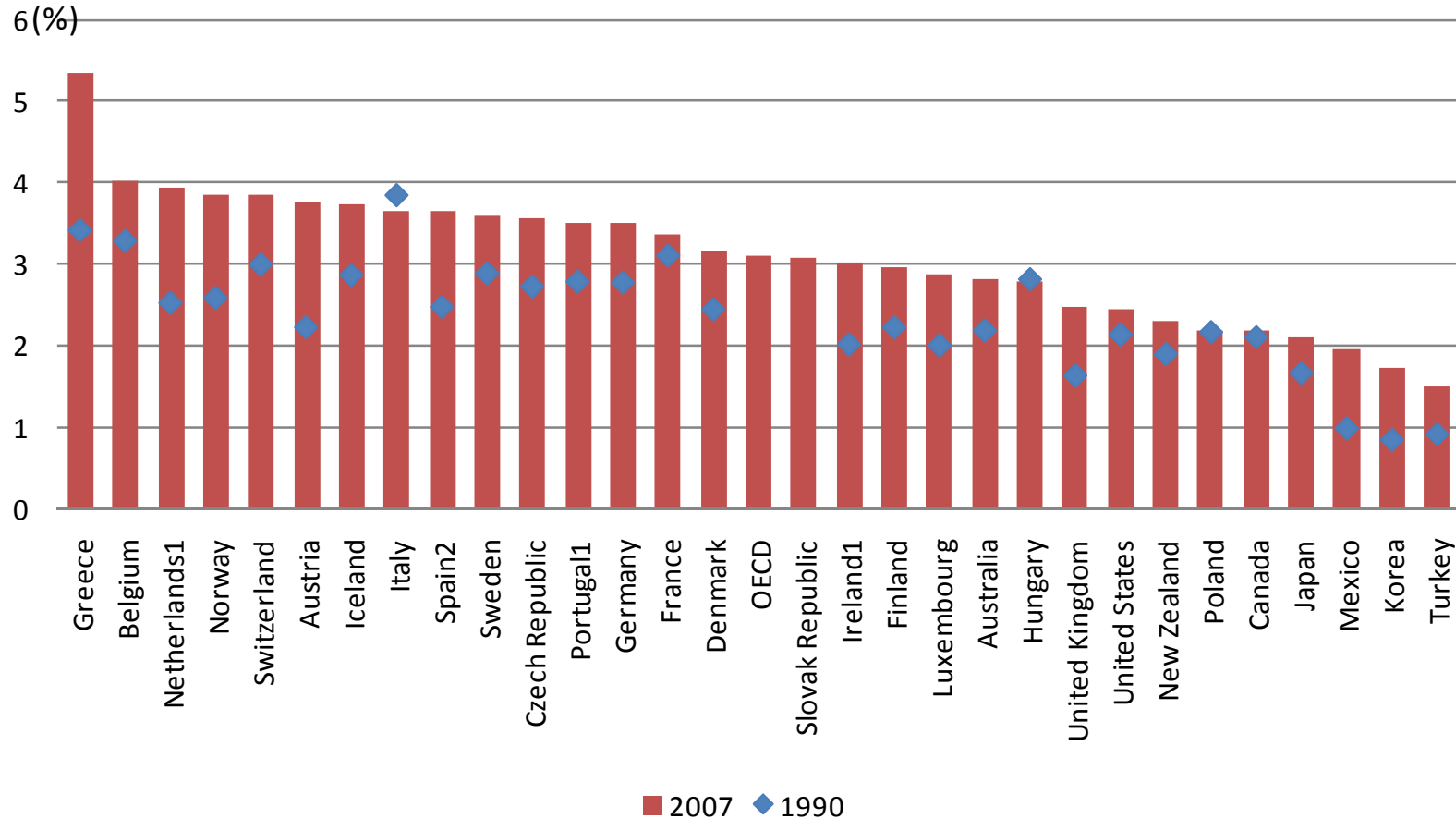
出典: Education at a Glance 2009

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

# OECDの統計

## 人口1000人あたり医師数



日本は2.1人でOECD平均(3.1人)を下回っている。

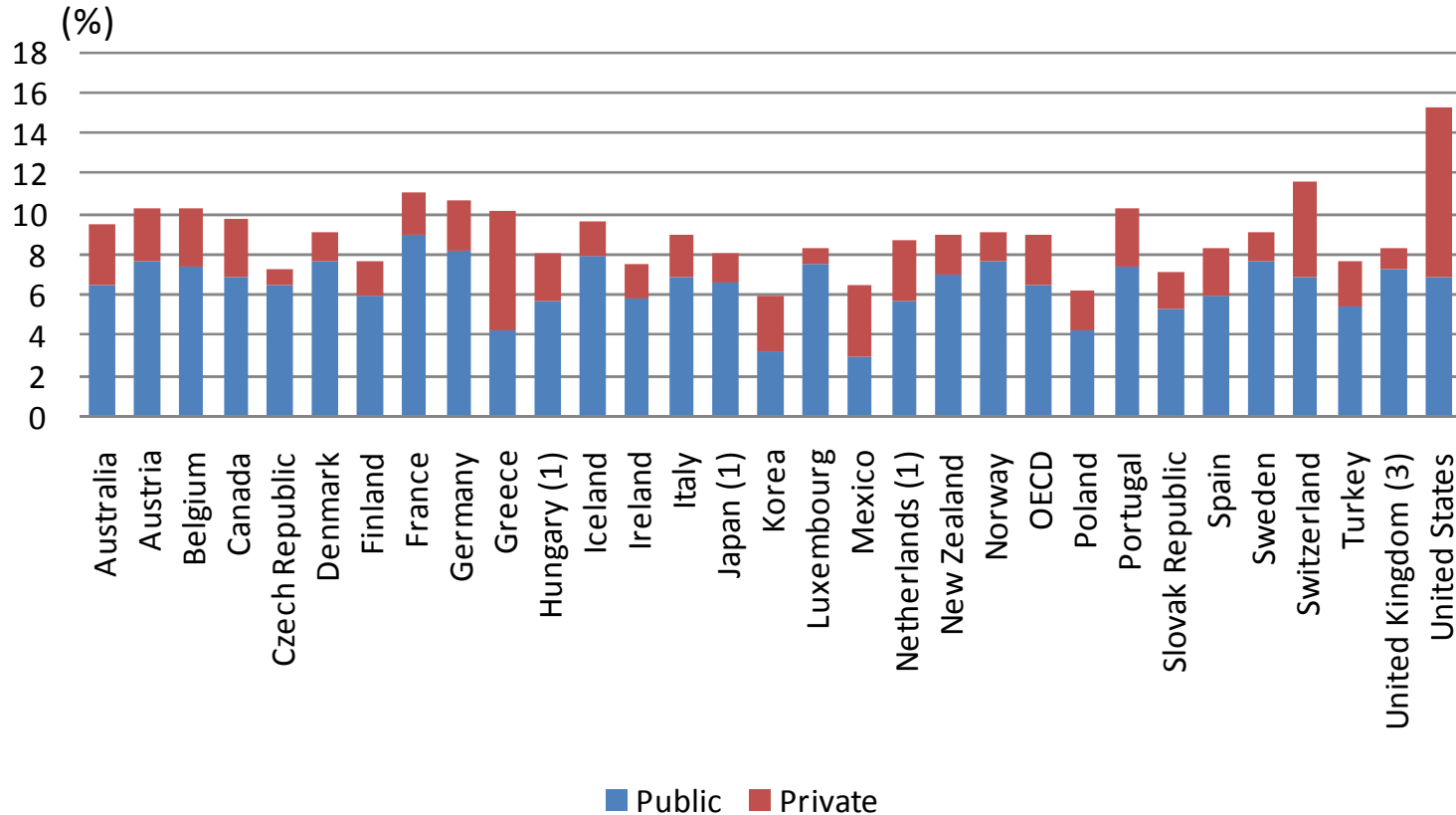
出典 OECD Health Data 2009

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

# OECDの統計

## 健康支出額の対GDP比



日本は8%でOECD平均(9%)を下回っている

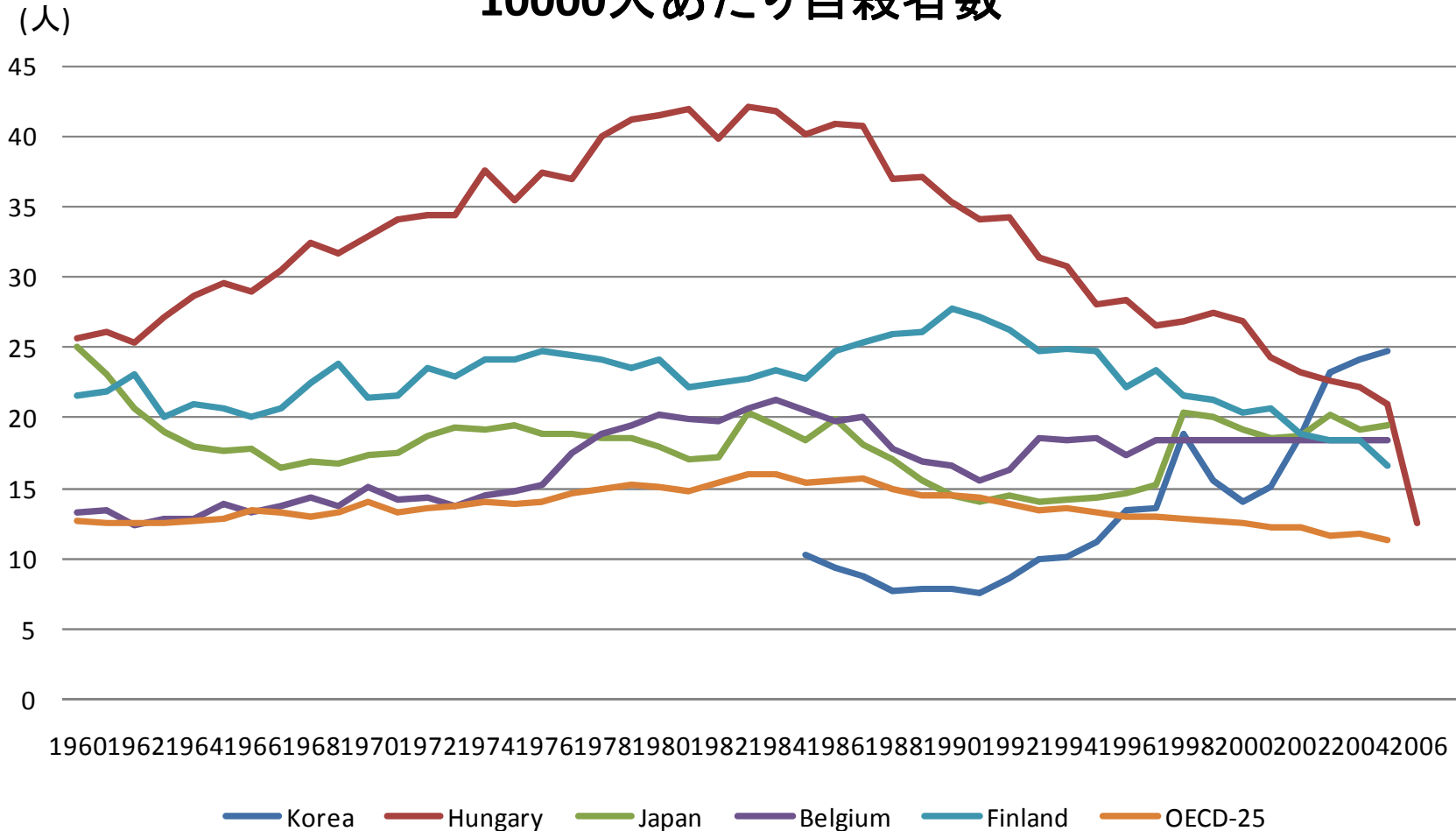
出典: OECD Health at a Glance 2007

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

# OECDの統計

## 10000人あたり自殺者数



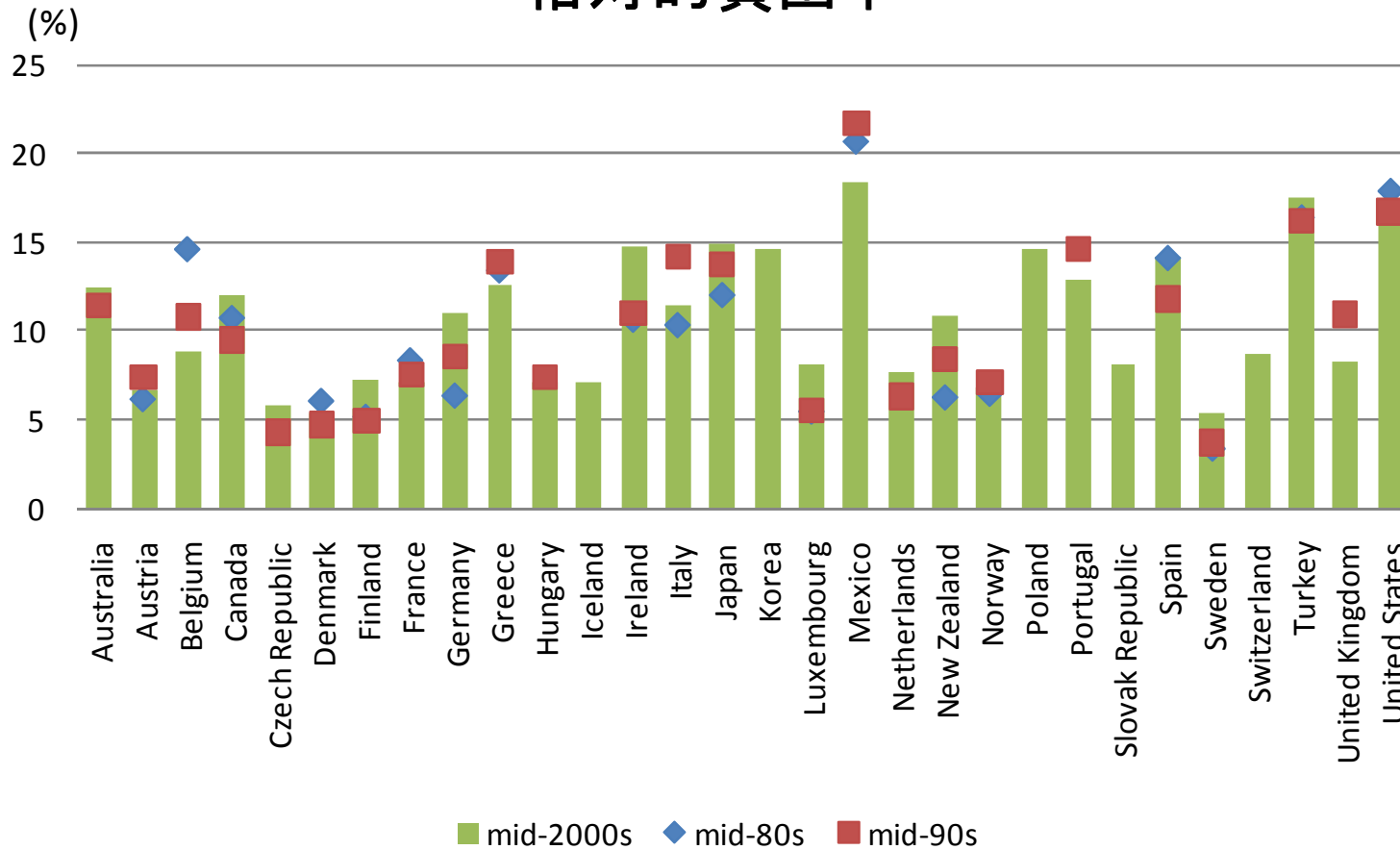
日本は19.4人で韓国(24.7人)、ハンガリー(19.4人)に次いで高い。  
データのあるOECD25カ国平均は11.4人

出典: OECD Society at a Glance 2009



# OECDの統計

## 相対的貧困率



日本は14.9%で、メキシコ(18.4%)、トルコ(17.5%)、米国(17.1%)に次いで高い。

出典: Growing Unequal 2008

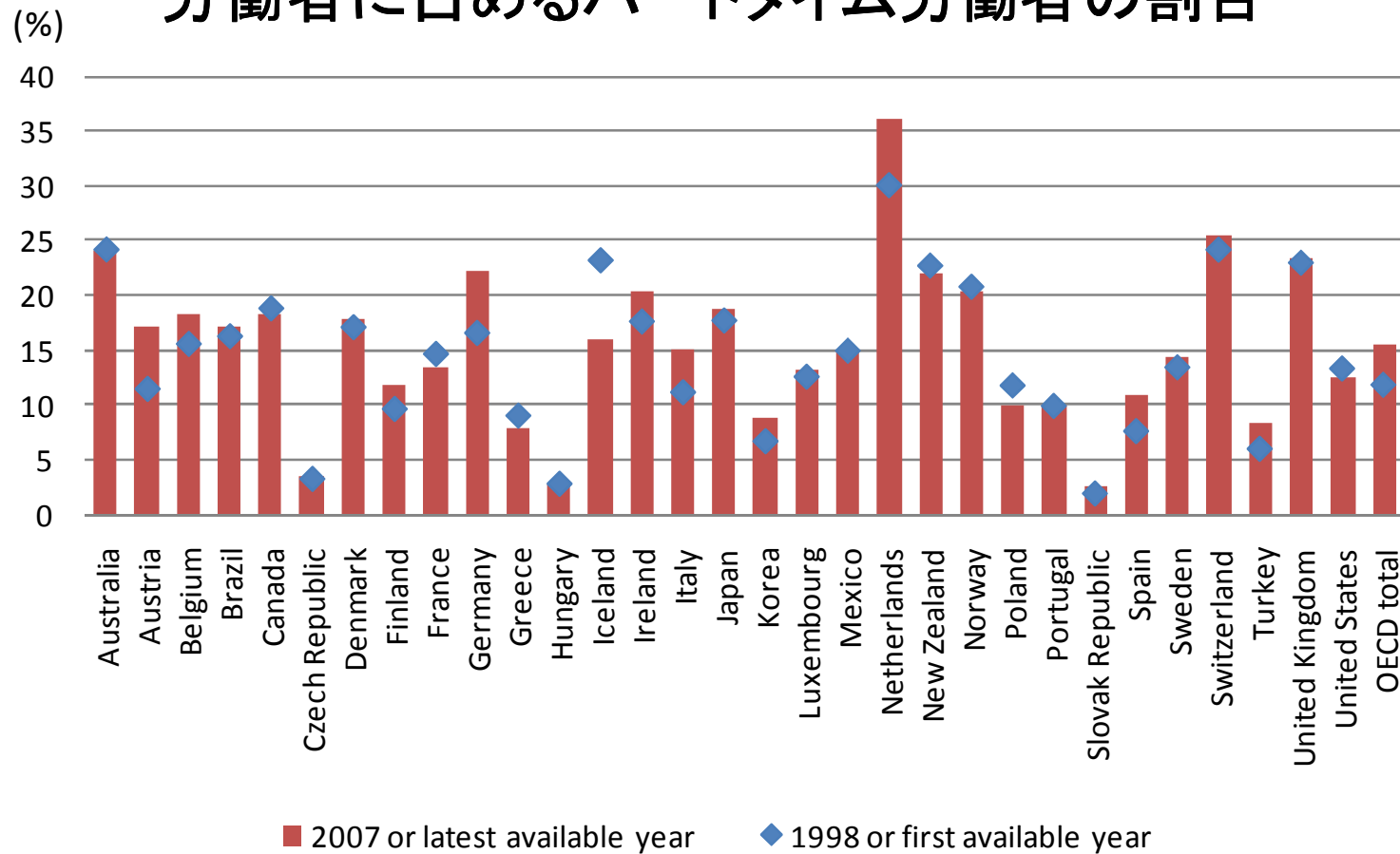
2010年1月18日

経済統計b: 第12回

81

# OECDの統計

## 労働者に占めるパートタイム労働者の割合



日本は18.86%でOECD平均15.40%を上回っている。

出典: OECD Factbook 2009

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

# 今週の内容

- 国際機関の統計
  - 国際連合と専門機関の統計
  - OECDの統計
  - その他の国際的な統計

# その他の国際的な統計

- WTO
  - 貿易に関するルールを決定する国際機関として、1995年1月に発足
  - 2008年11月現在で153ヶ国・地域が加盟
  - 貿易に関する国際紛争を解決するためのシステムが設けられている
  - 意志決定はコンセンサス方式

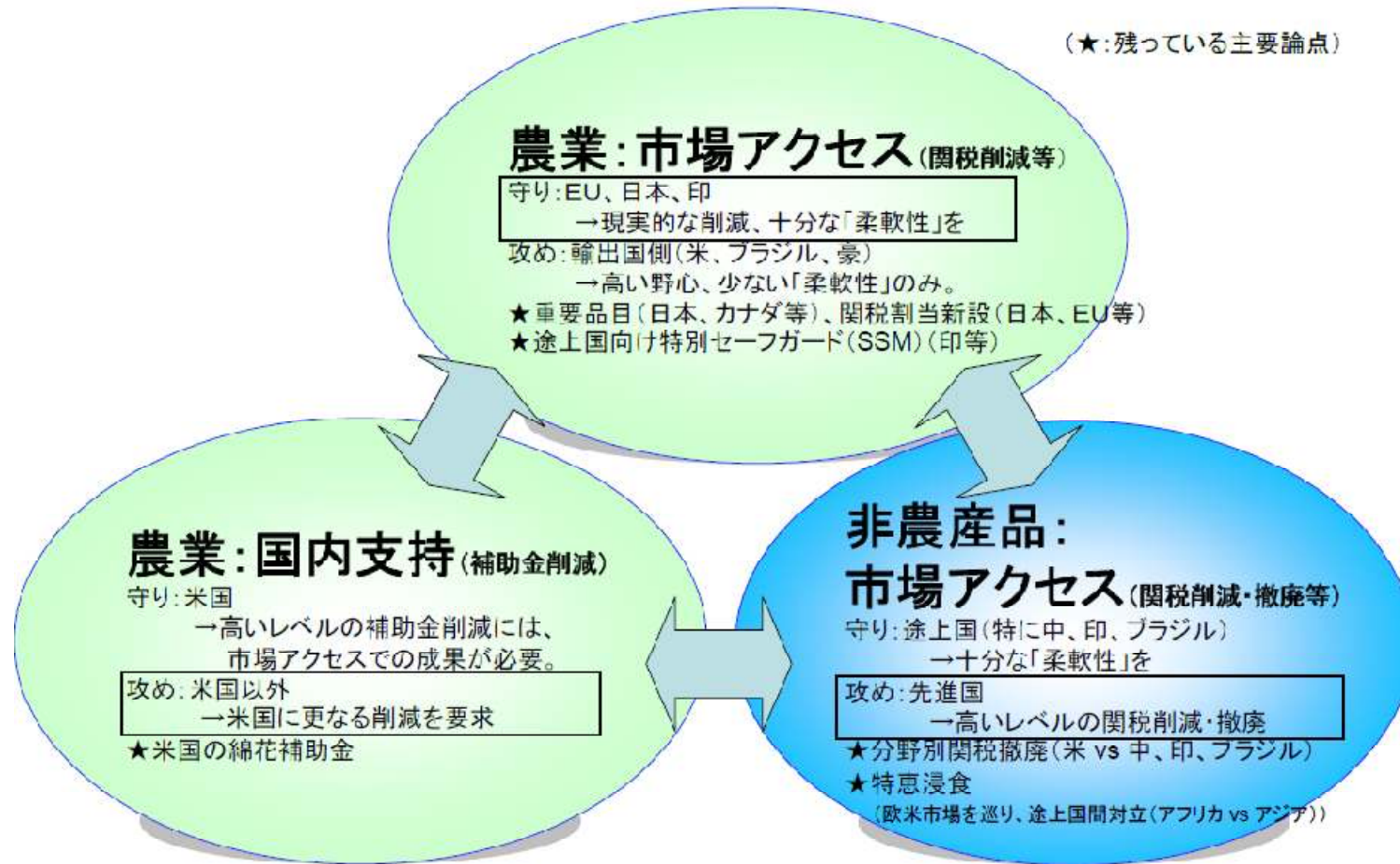
# その他の国際的な統計

- ドーハ・ラウンド(2001年11月～現在)
  - WTOでは、ラウンドと呼ばれる一連の交渉プロセスを経て、ルールが定められる
  - 2001年より現在までドーハラウンドと呼ばれる交渉が行われているが、途上国と先進国の間で合意に至らず
  - 農業:農産品の市場アクセスの改善、貿易歪曲的国内支持の削減、輸出補助金の撤廃等の交渉
  - 非農産品市場アクセス:鉱工業品等の関税及び非関税障壁の削減・撤廃についての交渉
  - サービス:サービス貿易の自由化のための交渉
  - ルール(アンチダンピング・補助金・地域貿易協定):アンチ・ダンピング協定、補助金協定、地域貿易協定の規律の明確化・改善の交渉
  - 貿易円滑化:税関手続きを含む貿易手続きの簡素化・明確化のための交渉
  - 開発:途上国へのS&D(特別かつ異なる待遇)措置、実施問題等に関する交渉
  - 環境:WTO協定と多国間環境条約の関係、環境物品の関税引き下げ等の交渉
  - TRIPS(知的所有権の貿易関連の側面):ワイン・スピッツの地理的表示に関する多数国間通報等力制度の設立等の交渉

# その他の国際的な統計

## ドーハ・ラウンド交渉の関連図

(★:残っている主要論点)



出典:財務省「WTOドーハ・ラウンド交渉の現状について」

2010年1月18日

経済統計b:第12回

# その他の国際的な統計

Tariff Profiles (%)	Brazil	China	Chinese Taipei	EU	Japan	Korea, Republic of	India	United States
Animal products	38.2	14.8	15.9	28.7	15.9	27.3	105	2.4
Dairy products	48.9	12.2	16	67.8	134.7	69.8	65	20.8
Fruit, vegetables, plants	34.1	15	20.3	10.8	10.8	64.4	100.8	4.7
Coffee, tea	34.1	14.9	8.5	7.2	14.5	74.1	133.1	3.4
Cereals & preparations	43.4	23.7	39.3	27	86.3	179.7	119.4	3.5
Oilseeds, fats & oils	34.6	11.6	18.7	6	11	47.2	168.9	4.4
Sugars and confectionery	34.4	27.4	49.5	31.3	47.1	32.2	124.7	13.4
Beverages & tobacco	37.7	23.9	14.5	24.3	14.6	42.5	127	16.8
Cotton	55	22	0	0	0	2	110	4.7
Other agricultural products	29	11.9	3.5	5.2	4.5	20.7	104.1	1
Fish & fish products	33.5	11	23.4	11.2	5	15	100.7	1.1
Minerals & metals	32.9	8	3	2	1	7.6	38.3	1.7
Petroleum	35	3.3	6.2	2	41.2	12.3	-	1.8
Chemicals	21	6.7	2.8	4.6	2	5.9	39.5	2.9
Wood, paper, etc.	28.8	5	0.5	0.9	0.9	2.8	36.5	0.4
Textiles	34.8	9.7	7.5	6.5	5.4	15.9	29.9	7.8
Clothing	35	16.2	11.7	11.5	9.2	28.3	40.7	11.4
Leather, footwear, etc.	34.7	13.7	5.4	4.2	12.4	12.2	35.2	4.6
Non-electrical machinery	32.4	8.4	3.7	1.7	0	9.5	28.2	1.2
Electrical machinery	32	8.8	4.1	2.4	0.2	9	26.8	1.6
Transport equipment	33.3	11.5	7.8	4.1	0	8.2	35.8	3.1
Manufactures, n.e.s.	33.2	12.3	3.3	2.5	1	10.1	31.4	2.2

出典：WTO “Statistics database Tariff Profiles”より作成 <http://stat.wto.org/Home/WSDBHome.aspx?Language=E>

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

87

# その他の国際的な統計

- アジア開発銀行 (ADB)
  - 「貧困のないアジア・太平洋地域」をめざし、1966年に創立
  - 現在の加盟国はアジア・太平洋地域の48カ国を含む67カ国
  - 出資額は日本と米国が共に82億ドル(シェア15.8%)で加盟国中第1位である
    - 議決権は総議決権の20%を全加盟国で均等に配分した基本議決権と、当該加盟国が保有するADBの株式の数と同じ比率となる比例議決権数からなる
    - 日本と米国の議決権は12.756%
  - 歴代総裁は、日本の財務省出身者が着任



# その他の国際的な統計

表2 2008年中の承認額順にみた主要被援助国

(単位：百万ドル)

	融資		技術協力	無償援助	合計
	ソブリン	ノンソブリン			
インド	1,808.3	1,068.6	27.4	-	2,904.3
中国	1,526.0	224.1	19.5	5.7	1,775.2
パキスタン	1,171.0	-	7.9	-	1,178.9
インドネシア	1,010.0	75.0	13.0	-	1,098.0
フィリピン	620.0	320.0	9.4	1.0	950.4
ベトナム	764.7	25.0	26.9	5.2	821.8
バングラデシュ	592.0	-	4.5	18.5	615.0
カザフスタン	340.0	-	0.3	-	340.3
アフガニスタン	-	60.0	3.0	266.0	329.0
アゼルバイジャン	215.4	-	1.2	-	216.6
地域	-	-	116.8	-	116.8
その他	666.7	7.5	44.8	515.0	1,234.0
合計	8,714.0	1,780.2	274.5	811.4	11,580.1

- = 該当データなし。

注：小数点以下の処理により合計と一致しない場合がある。

出典：ADB「アジア開発銀行年次報告 2008」<http://www.adb.org/JRO/doc-annualrep.asp>

2010年1月18日

経済統計b：第12回

89

# その他の国際的な統計

表3 セクター別業務実績(2007～2008年)

	融資				無償援助			
	2007		2008		2007		2008	
	百万ドル	%	百万ドル	%	百万ドル	%	百万ドル	%
農業・天然資源	146.3	1	443.2	4	22.8	3	85.1	10
教育	145.0	1	130.0	1	61.0	9	27.8	3
エネルギー	1,403.7	14	2,462.5	23	25.4	4	259.9	32
金融	1,063.0	11	117.8	1	2.0	0.3	1.0	0.1
保健・栄養・社会的保護	50.0	1	210.6	2	31.0	5	15.7	2
産業・貿易	50.0	1	167.5	2	17.0	3	10.0	1
法律・経済運営・公共政策	1,179.5	12	1,945.0	19	16.5	2	122.4	15
運輸・通信	3,925.8	39	2,734.1	26	319.9	48	169.1	21
上下水道・廃棄物管理	408.2	4	401.6	4	7.5	1	59.9	7
マルチセクター	1,594.1	16	1,882.0	18	169.7	25	60.5	7
合計	9,965.6	100	10,494.3	100	672.7	100	811.4	100

注：小数点以下の処理により合計と一致しない場合がある。

出典：ADB「アジア開発銀行年次報告 2008」<http://www.adb.org/JRO/doc-annualrep.asp>

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

90

# その他の国際的な統計

- アジア開発銀行の統計
  - Key Indicators for Asia and the Pacific
    - アジア開発銀行が毎年発行する、経済、金融、社会、環境等に関する統計報告書
    - 毎年の特集も組まれており、2009年度の特集は、アジアの中小企業にのダイナミズムについて
  - Asian Development Outlook
    - 直近までのデータをもとにした、今後2年の経済見通しに関する報告書

# その他の国際的な統計

Subregion/Economy	Table 1 Growth rate of GDP (% per year)					Table 2 Inflation (% per year)				
	2008	2009		2010		2008	2009		2010	
		ADO 2009	Update	ADO 2009	Update		ADO 2009	Update	ADO 2009	Update
<b>Central Asia</b>	5.7	3.9	0.5	4.8	3.6	16.4	10.6	7.6	7.8	7.3
Azerbaijan	10.8	8.0	3.0	6.7	4.5	20.8	12.0	4.0	7.0	7.0
Kazakhstan	3.3	2.0	-1.0	3.3	2.5	17.3	10.0	8.0	6.4	6.4
<b>East Asia</b>	6.5	3.6	4.4	6.5	7.1	5.4	1.1	0.2	1.3	2.6
China, People's Rep. of	9.0	7.0	8.2	8.0	8.9	5.9	0.8	-0.5	1.0	3.0
Hong Kong, China	2.4	-2.0	-4.0	3.0	3.0	4.3	1.5	1.3	2.0	2.0
Korea, Rep. of	2.2	-3.0	-2.0	4.0	4.0	4.7	2.0	2.5	2.0	2.5
Taipei, China	0.1	-4.0	-4.9	2.4	2.4	3.5	0.6	-0.7	1.2	0.2
<b>South Asia</b>	6.3	4.8	5.6	6.1	6.4	9.6	5.6	4.7	4.4	4.9
Bangladesh	6.2	5.6	5.9	5.2	5.2	9.9	7.0	6.7	6.5	6.5
India	6.7	5.0	6.0	6.5	7.0	8.7	3.5	2.5	4.0	4.0
Pakistan	4.1	2.8	2.0	4.0	3.0	12.0	20.0	20.8	6.0	10.0
Sri Lanka	6.0	4.5	4.0	6.0	6.0	22.6	8.0	5.0	6.0	6.0
<b>Southeast Asia</b>	4.1	0.7	0.1	4.2	4.3	8.6	3.3	2.5	4.1	4.1
Indonesia	6.1	3.6	4.3	5.0	5.4	9.8	6.3	5.0	6.9	6.0
Malaysia	4.6	-0.2	-3.1	4.4	4.2	5.4	1.5	1.1	2.4	2.6
Philippines	3.8	2.5	1.6	3.5	3.3	9.3	4.5	3.2	5.0	4.5
Singapore	1.1	-5.0	-5.0	3.5	3.5	6.5	0.5	0.0	2.0	2.0
Thailand	2.2	-2.0	-3.2	3.0	3.0	5.5	0.5	-0.5	1.5	2.0
Viet Nam	6.2	4.5	4.7	6.5	6.5	23.0	4.0	6.8	5.0	8.5
<b>The Pacific</b>	5.2	3.0	2.8	2.7	3.1	9.5	6.2	6.1	4.9	5.2
Fiji Islands	1.2	-0.5	-1.0	0.2	0.5	7.7	4.5	7.0	4.5	7.0
Papua New Guinea	7.2	4.0	4.5	3.5	3.9	10.8	7.0	7.0	6.0	5.5
<b>Developing Asia</b>	6.1	3.4	3.9	6.0	6.4	6.9	2.4	1.5	2.4	3.4

出典: ADB “Asian Development Outlook 2009 Update: Broadening Openness for a Resilient Asia”

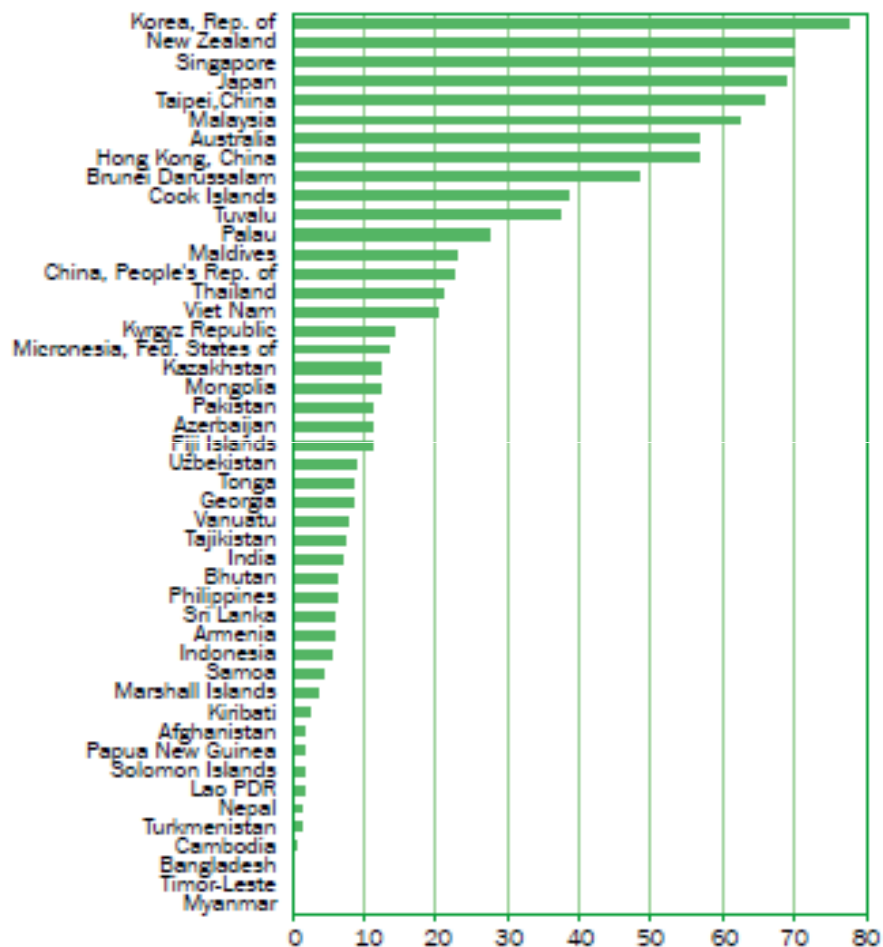
2010年1月18日

経済統計b: 第12回

92

# その他の国際的な統計

Figure H6 Internet Users, 2008 or Latest Year (per 100 population)



The “digital divide”, as measured by internet access, is still wide. In eight economies, 50% or more of the population have internet access, but access is less than 20% in the majority of economies.

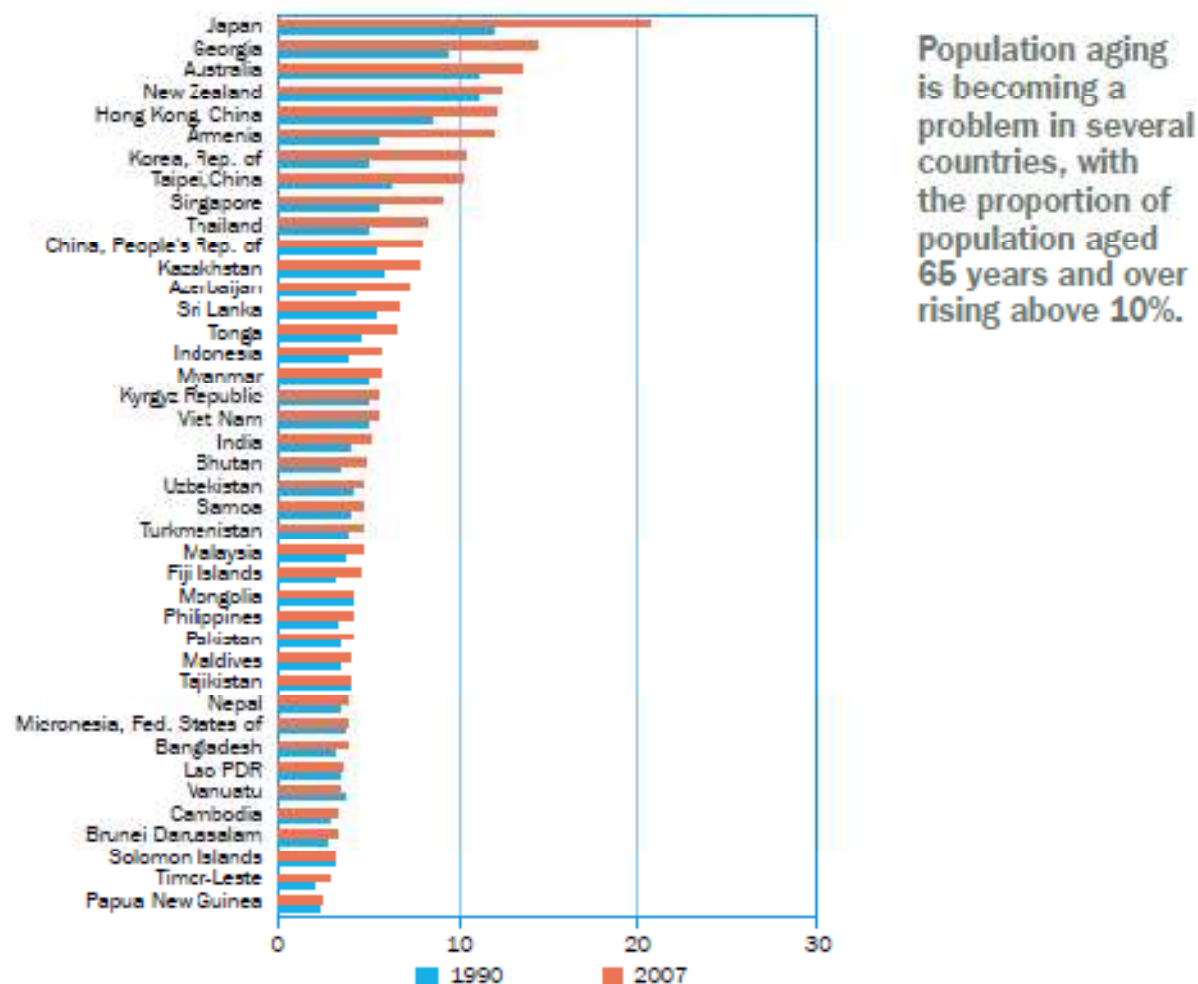
出典: ADB “Key Indicators for Asia and the Pacific 2009”

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

# その他の国際的な統計

Figure H7 Population Aged 65 Years and Over, 1990 and 2007 (percent of total population)



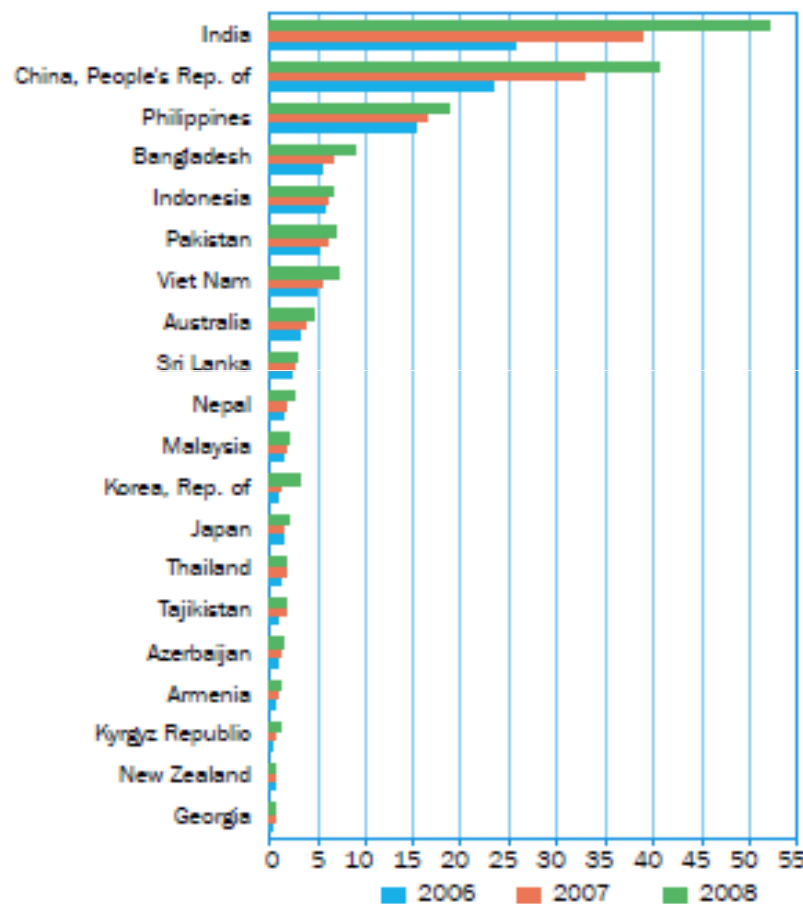
出典: ADB “Key Indicators for Asia and the Pacific 2009”

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

# その他の国際的な統計

Figure H11 Migrant Workers' Remittances, 2006, 2007, and 2008 (US\$ billion)



Migrant workers' remittances remain a vital source of income for many countries, increasing more than sixfold since the mid-1990s.

出典: ADB "Key Indicators for Asia and the Pacific 2009"

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

95

# その他の国際的な統計

- 国際競争力指数

- 「国際競争力」という用語がしばしば用いられるが、「誰の競争力なのか？」「何を競争しているのか？」などが曖昧なまま用いられている場合がある

- 国際競争力に対する経済学者の見解

- Krugman (1994) 「国の経済政策を考えるときに、競争力は意味のない言葉なのだ。そして競争力という妄想にとらわれるのは、間違いでもあるし、危険でもある」
- Poter (1990) 「国民の高い生活水準を維持できる、高賃金を払い続けるような企業が存在できる、高い生産性」



# その他の国際的な統計

- 国際競争力指数

- 世界経済フォーラム「国際競争力レポート」

- Sala-i-Martinらの選定した、経済成長に影響を与える12の要素からなる国際競争力指数(GCI)を公表

- 制度、インフラ、マクロ経済の安定度、健康衛生と初等教育、高等教育と職業訓練、商品市場効率、労働市場効率、金融市場の成熟度、技術発展、市場規模、ビジネスの先進度、技術革新

国/経済体	GCI	GCI	GCI		
	2009年度順位	2009年度得点	2008年度順位	2008-2009推移	
スイス	1	5.60	2	□	1
米国	2	5.59	1	□	-1
シンガポール	3	5.55	5	□	2
スウェーデン	4	5.51	4	□	0
デンマーク	5	5.46	3	□	-2
フィンランド	6	5.43	6	□	0
ドイツ	7	5.37	7	□	0
日本	8	5.37	9	□	1
カナダ	9	5.33	10	□	1
オランダ	10	5.32	8	□	-2

# その他の国際的な統計

## ・国際競争力指数

– International Institute for Management Development(IMD)

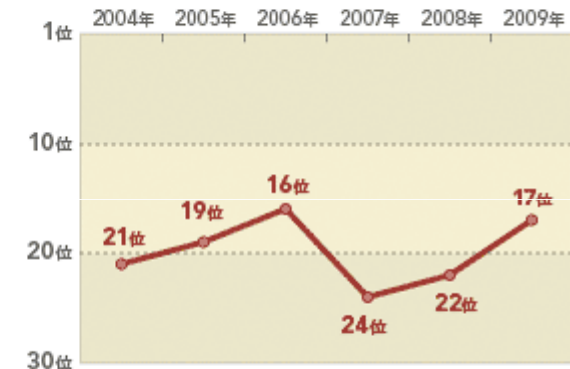
Porterの監修により企業の活動を支援する環境が整備されている程度を以下の4大項目により評価

- ・「経済情勢(国内マクロ経済、国際貿易など)」
- ・「政府の効率(財政、方針など)」
- ・「ビジネスの効率(企業の経営効率や労働市場)」
- ・「インフラ」

国際競争力ランキング上位20位

1	米国	11	ノルウェー
2	香港	12	ルクセンブルグ
3	シンガポール	13	ドイツ
4	スイス	14	カタール
5	デンマーク	15	ニュージーランド
6	スウェーデン	16	オーストリア
7	オーストラリア	17	日本
8	カナダ	18	マレーシア
9	フィンランド	19	アイルランド
10	オランダ	20	中国

日本の総合順位の変遷



IMD「国際競争力年鑑」(2009)からみる日本の弱点(抜粋)

総合順位		日本の弱点(抜粋)							
大分類									
総合順位	17								
経済状況	24	対内直接投資ストック	(56)	生計費	(55)	対内直接投資フロー	(51)	交易条件	(47)
政府の効率性	40	法人税率	(57)	一般政府赤字	(56)	高齢化進展	(55)	年金制度の適切性	(46)
ビジネス効率性	18	起業家精神	(54)	管理職の国際経験	(52)	文化閉鎖性	(45)	新規事業適応性	(39)
インフラ	5	語学能力	(55)	企業からみた語学能力	(55)	管理者教育	(34)	企業ニーズに合う大学教育	(34)

資料: IMD『国際競争力年鑑』(2009)より三菱総合研究所作成

出典: 三菱総合研究所「IMD国際競争力ランキング: 科学インフラの強みを生かす法人税改革や市場開放の検討が急務

[http://www.mri.co.jp/NEWS/column/thinking/2009/2009014\\_1801.html](http://www.mri.co.jp/NEWS/column/thinking/2009/2009014_1801.html)

2010年1月18日

経済統計b: 第12回

98